

「日本博」 参画プロジェクト一覧

資料 3

認証プロジェクト数 154

令和元年9月19日

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
1	東京国立博物館	東京都	日本美を守り伝える「紡ぐプロジェクト」—皇室の至宝・国宝プロジェクト— 特別展 御即位30年記念「両陛下と文化交流—日本美を伝える—」	平成31年3月5日～4月29日	東京都	美術・文化財	主催/独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、宮内庁、文化庁、読売新聞社 特別協賛/キヤノン、サントリーホールディングス、資生堂、JR東日本、積水ハウス、高島屋、日本たばこ産業、野村ホールディングス、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス 協賛/JTB、竹中工務店、成田国際空港、日本郵政グループ、三菱重工業、三菱商事	天皇・皇后両陛下の御即位30年を記念し、両陛下が担われた文化交流を紹介する特別展覧会を開催。皇室で受け継がれてきた名品も展示。
2	東京国立博物館	東京都	美を紡ぐ 日本美術の名品—雪舟、永徳から光琳、北斎まで—	令和元年5月3日～6月2日	東京都	美術・文化財	主催/独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、文化庁、読売新聞社 協力/宮内庁 特別協賛/キヤノン、サントリーホールディングス、資生堂、JR東日本、積水ハウス、高島屋、日本たばこ産業、野村ホールディングス、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス 協賛/JTB、竹中工務店、成田国際空港、日本郵政グループ、三菱重工業、三菱商事	文化庁、東京国立博物館、宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する、狩野永徳、雪舟、尾形光琳、葛飾北斎らの、「自然」にまつわる名品が中心に並ぶ。
3	東京国立近代美術館	東京都	イメージコレクター・杉浦非水展	前期：平成31年2月9日～4月7日 後期：平成31年4月10日～5月26日	東京都	デザイン・ファッション	主催/独立行政法人国立文化財機構東京国立近代美術館 共催/毎日新聞社 特別協力/愛媛県美術館	日本のグラフィックデザインの創成期に、重要な役割を果たした図案家の杉浦非水。ポスターや表紙デザイン、新たにデジタル化した16mmフィルムの映像やスクラップブックなど、日本の四季を取り入れた作品を中心に公開。
4	国立西洋美術館	東京都	林忠正—ジャポニズムを支えたバリの美術商	平成31年2月19日～令和元年5月19日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構国立西洋美術館	西洋で日本美術品を商った初めての日本人である林忠正について、万博などとの関わりや、地域の風土に根差した、日本そして西洋の美術・工芸品を介して培われた交友に注目し、生涯にわたる活動を概観する。
5	東京国立近代美術館	東京都	桃山時代から現代へ「The 備前—土と炎から生まれる造形美—」	平成31年2月22日～令和元年5月6日	東京都	美術・文化財	主催/独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館、NHK、NHKプロモーション 制作協力/NHKプラネット中部	桃山時代に茶人・数寄者によって見立てられた古備前の名品から、その古備前に魅せられ作陶に取り組んできた近代の作家、さらに重要無形文化財保持者や若手の最新作まで3部構成で紹介し、土と炎の造形から生まれるシンプルで原始的なやきものである備前焼の魅力を紹介。
6	国立劇場	東京都	歌舞伎公演「元禄忠臣蔵—御浜御殿綱豊卿—」 「積恋雪関扉」	平成31年3月3日～27日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	新歌舞伎の名作『元禄忠臣蔵—御浜御殿綱豊卿—』と歌舞伎舞踊屈指の大曲『積恋雪関扉』—古来日本人に愛され、日本人のこころに寄り添う「桜」が印象に残る2作品を取り上げ、平成最後の春を彩る。
7	国立劇場	東京都	高精細レプリカ展示	平成31年3月3日～令和元年7月24日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会 共催：大塚オーミ陶業株式会社	桜にちなんだ歌舞伎公演に合わせ、加山又造作「おぼろ」や風神雷神図の陶板による高精細レプリカ（大塚オーミ陶業株式会社）を特別展示。
8	国立科学博物館	東京都	日本館春祭り	平成31年3月3日～31日	東京都	生活文化・文芸・音楽	主催：独立行政法人国立科学博物館	日本博の開幕に合わせて、日本館中央ホールにて、「桜」に関連した植物画を特別公開するとともに、日本古来の縮景芸術のひとつ「盆石」の実演、茶会や琴の演奏会など、日本の文化を体感頂くさまざまなイベントを実施。
9	東京国立博物館	東京都	国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅	平成31年3月26日～令和元年6月2日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、真言宗総本山教王護国寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション 特別協賛：大和証券グループ 協賛：NISSHA	弘仁14年（823年）に空海が嵯峨天皇から東寺を賜わり、真言宗を創立してから2023年に立教開宗1200年を迎えることを記念して、当時に伝来した密教美術の名品を展示。密教で万物の根源と位置付ける大日如来は、生命、自然を育む太陽と同一視される。21体の仏像で構成される東寺講堂の曼陀羅のうち15体の仏像を展示するほか、国宝31件、重要文化財60件を含む110件で構成する。平安・鎌倉から脈々と受け継がれた寺宝を通じ、現代まで続く「日本の美」を国内外へ発信する。
10	東京国立博物館	東京都	奈良 大和四寺のみほとけ	令和元年6月18日～9月23日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、日本経済新聞社	奈良県中東部に位置する岡寺、安倍もんじゅ印、長谷寺、室生寺の飛鳥時代7世紀～奈良時代8世紀の四箇寺の仏像を紹介する。祈雨、止雨が祈られた龍穴の存在や修験道に関わりが深いなど、自然との関わりが深い寺院であり、本展覧会を通じて寺宝を紹介するとともに、自然と共存してきた日本人の振興および文化を発信する。会場には寺院紹介パネルを掲示するなど、各寺院への観光客の誘致も図る。
11	東京国立博物館、九州国立博物館、泉屋博古館、泉屋博古館分館	東京都	住友財団修復助成三十年記念特別企画「文化財よ、永遠に」	令和元年10月1日～12月1日（東京国立博物館） 令和元年9月10日～11月4日（九州国立博物館） 令和元年9月6日～10月14日（泉屋博古館） 令和元年9月10日～10月27日（泉屋博古館分館）	東京都、福岡県、京都府	美術・文化財	主催：住友財団、泉屋博古館、泉屋博古館分館、独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、九州国立博物館、住友グループ各社、読売新聞社、京都新聞 後援：文化庁、美術院、国宝修理装演師連盟	東京国立博物館は彫刻に限定して北は岩手県、西は高知、鳥取県までの24件を展示。九州国立博物館は九州・沖縄の7県から考古、絵画、彫刻など29件、泉屋博古館は京都周辺の彫刻、絵画、文書等、泉屋博古館分館は関東および東日本の絵画、工芸品43件で構成する。修理前・修理中の写真を示し、作品ごとに多様な修理の様子を伝えることを目的とする。東日本大震災、熊本地震の被災文化財を含み、時として日本の自然が脅威になること、修復によって再生することを示す。
12	東京国立博物館	東京都	特集「親と子のギャラリー—ツノをもつ動物」	平成31年4月16日～令和元年5月26日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館	本来ツノは外敵から身を守り、雄同士の戦いをするための武器として使用されるが、ツノが生えていない人間は、ツノを神聖なものと見え、あるいは畏怖の念を抱き、ツノをもつ動物を神の使いとして靈獣視し、空想上の瑞獣をツノが生えた姿で想像した。 本展では、日本古来より美術工芸作品のモチーフとされたシカやウシなどの実在の動物に加えて、龍や麒麟などの空想上のツノのある動物を対象とした作品を一同に公開し、日本人と動物の多様な関係を文化的に明らかにする。
13	京都国立博物館	京都府	時宗二祖上人七百年御遠忌記念 国宝—遍聖絵と時宗の名宝	平成31年4月13日～令和元年6月9日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館、朝日新聞社、時宗総本山清浄光寺（遊行寺） 協賛：京阪ホールディングス、竹中工務店 協力：仏教美術研究上野記念財団、日本香堂、楽浪文化財修理所	遊行や踊り念仏などで知られる時宗は、宗祖一遍上人によって開かれ、二祖の真教上人によって教団として発展した。2019年に真教上人の七百年遠忌を迎えるのを記念して、歴代祖師の肖像彫刻や肖像画をはじめとする時宗の名宝が一堂に会す。
14	京都国立博物館	京都府	ICOM京都大会開催記念特別企画 京博寄託の名宝 美を守り、美を伝える	令和元年8月4日～9月16日	京都府	美術・文化財	主催：日本博物館協会、ICOM、ICOM日本委員会、ICOM京都大会組織委員会2019、日本学術会議 協力：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、京都府、京都市 協賛：協賛企業多数	京都国立博物館寄託の名品には、その時代ごとの日本人の感性が反映されており、日本の伝統的・文化的価値が人々の精神活動や自然への眼差しを基礎としていることが理解できる。 120年にわたって京都を中心とする近隣の寺社等が所蔵する文化財を寄託保管し、現在寄託作品の総数は約6000件にのぼる。本展では、その中から厳選して内外の博物館関係者や旅行者が数多く京都を訪れるICOM京都大会の会期に合わせて展覧し、京都文化の精髓を紹介する。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要☒
15	奈良国立博物館	奈良県	国宝の殿堂 藤田美術館展 —曜変天目茶碗と仏教美術のきらめき—	平成31年4月13日～令和元年6月9日	奈良県	美術・文化財	主催：奈良国立博物館、朝日新聞社、NHK奈良放送局、NHK プラネット近畿 協力：日本香堂、藤田観光、仏教美術協会 特別協力：藤田美術館 協賛：ダイキン工業、大成建設、	藤田美術館（大阪市）のコレクションを集めた藤田傳三郎は日本の自然を愛し、日本美における自然描写の卓越さに早くから気づいた自分であった。 本展は、日本人と自然に関わる作品を柱とし、仏教美術、茶道の美術、公家の美術、禅のほか能装束、能面、考古遺品、陶磁器などにわたって紹介する。自然描写豊かな絵巻や水墨画、草花をちりばめた和歌の料紙、さらに蒔絵に見られる花鳥表現など、細部の魅力もアピールする。
16	奈良文化財研究所	奈良県	高御座展	平成31年4月27日～6月2日	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 後援：文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務 所、県営平城宮跡歴史公園管理事務所、平城宮跡管理セン ター、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会	新天皇のご即位を記念して、奈良文化財研究所所蔵の高御座模型を展示し、復元した奈良時代の高御座の意匠、高御座の役割などについて解説。連続と続く歴史の息遣いを感じることができる。
17	奈良文化財研究所	奈良県	埋（うず）もれた大宮びとの横顔 —薬・まじない・荘園の木簡—	平成31年4月8日～4月26日	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	普段目にする事のない藤原宮・京出土の実物の木簡を展示し、そのなかでも今日の我々の生活にも身近な薬にかかわる木簡を取り上げることで、古代の人々の暮らしの一端を紹介する。
18	奈良文化財研究所	奈良県	奈良文化財研究所 公開講演会	令和元年6月、11月（各1回）	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	奈良文化財研究所の研究員が行う多数の古建築や遺物を中心とした日頃の調査研究の成果を発表する機会を提供するとともに、その成果といしえの日本人が作り上げた文化・生活様式などを広く発信する公開講演会を開催する。
19	東京国立近代美術館	東京都	MOMATコレクション	平成31年4月～令和元年12月	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館	日本画、洋画、版画、水彩・素描、写真など美術の各分野にわたる充実した所蔵作品から、日本の美の優品をセレクトし、日本の近代美術の流れを海外作品も交えて紹介する。 国内美術館・博物館で初となる外国人に向けた英語による体験型鑑賞プログラムを実施。
20	東京国立近代美術館	東京都	美術館の春まつり	平成31年3月19日～4月7日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館	桜を描いた名画など春にちなんだ作品を華やかに特集展示するとともに、参加型プログラムや飲食等で“祭り”気分を演出し、国内外からの来館者に日本の春を楽しむ機会を提供する。
21	東京国立近代美術館	東京都	竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション メトロポリタン美術館所蔵	令和元年9月13日～12月8日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館	本展は、アビー・コレクションから厳選した76点のかけ工芸作品を日本で初めて紹介する里帰り展である。 近年、とりわけ海外で高い関心を集める日本の近現代の竹工芸とそれを生み出した日本人の美意識を、世界有数の竹工芸コレクションであるニューヨークの「アビー・コレクション」が所属する工芸の名品を通じて、日本の自然と美意識によって育まれた竹の自由な造形美を紹介する。
22	京都国立近代美術館	京都府	京都の染織 1960年代から今日まで	平成31年3月8日～4月14日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館京都国立近代美術館・京都新聞社	平安遷都以来、日本の染織の中心となった京都において、京の染織家たちは、その時代時代に常に新しい技術、意匠を追い求め、素晴らしい作品を生み出してきた。本展では開館した1960年代から今日までの多様な「染」と「織」の状況を紹介します。志村ふくみ、森口邦彦、北村武資、村上良子の4人の人間国宝を含む28人の作家により技法や形態は変わろうと常に新しいものを追い求め、素晴らしい作品を創りだしてきた京の様相を見ることができる。
23	京都国立近代美術館	京都府	川勝コレクション 鍾漢窯・河井寛次郎	平成31年4月26日～令和元年6月2日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館京都国立近代美術館・京都新聞社 特別協力：河井寛次郎記念館	昭和12年（1937年）のバリ万博、昭和32年（1957年）のミラノ・トリエンナーレ国際陶芸展でグランプリを受賞した近代日本を代表する陶工・河井寛次郎の代表的な作品を網羅した川勝堅一コレクションの中から名品約250点を一堂に展示し、河合が民藝運動に参画することで、日本の自然に溢れた暮らしの中で、その造形性が晩年に向かい「生命」の喜びに溢れるものになったことを紹介する。
24	国立西洋美術館	東京都	国立西洋美術館開館60周年記念 松方コレクション展	令和元年6月11日～9月23日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館国立西洋美術館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション 協力：日本航空、西洋美術振興財団 協賛：損保ジャパン日本興亜、NISSHA	国立西洋美術館の開館60周年を記念し、同館が設立されるにいたる過程を、自邸の日本風の蓮池をモチーフとして、様々なに変化する自然の姿を表現したモネの《睡蓮》などの美術作品や歴史的資料計約160点で概観する。 《睡蓮、柳の反映》は、1921年に松方がモネから直接譲り受けた「睡蓮」の中の1点。元は縦2メートル、横4.25メートルの大作で長い間所在不明だったが、2016年にルーヴル美術館の一角で、画布の上半分が失われた状態で発見され、国立西洋美術館に寄贈されたことで大きな話題となった。 パリ・オランジュリー美術館の「睡蓮」の大装飾画を構想する過程で描かれたとされ、画家の制作プロセスを考えるうえで、きわめて意義のある“幻の大作”。現存部分の修復を経て、初めて公開される。
25	国立国際美術館	大阪府	コレクション特集展示 ジャコモッティと I	令和元年5月25日～8月4日	大阪府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立公文書館	アルベルト・ジャコモッティの彫刻作品《ヤナイハラ I》の収蔵を記念し、同時期の作家たちの作品とともに紹介。人をはじめとする自然を「見えるものを見えるとおりに」表現した作品を通じ、自然の持つ美を国内外へ発信する。
26	国立公文書館	東京都	平成31年春の特別展 江戸時代の天皇	平成31年4月6日～令和元年5月12日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館国立国際美術館	江戸時代の天皇・朝廷、江戸時代の元号選定・改元等について、国立公文書館の所蔵資料により紹介する。 上皇の御所である「桜町殿」へ向かう行幸の行列を描いた、上下合わせて全長約45メートルに及ぶ長大な絵巻には、天皇の乗物である「鳳輦」や、行列見学の人人々、京都所司代による警護の様子などが描かれている。そのほか、古来からの伝統と自然を体現した天皇の玉座である高御座を展示する。
27	国立劇場	東京都	文楽「妹背山婦女庭訓」	令和元年5月11日～27日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	『妹背山婦女庭訓』は、日本人が長きにわたり親んできた、若者たちの恋の悲劇とその親たちが子を思う情愛のドラマを、四季の自然の移り変わりを通して描く壮大な歴史劇である。クライマックスの「妹山背山の段」は、満開の桜の中、対立する2つの家族の関係を象徴する吉野川が流れる、文楽屈指の美しい場面である。この演目を二部構成、一日がかりで上演する本格的な公演は平成16年5月以来15年ぶりとなる。 今回の公演の新しい試みとして、98年間上演されなかった発端の場面「大内の段」を復活し、劇全体の構成の復元を行う。
28	国立劇場	東京都	特別企画公演「言葉～ひびく～身体 I 神々の残照～ 伝統と創造のあわいに舞う～」	令和元年 5月25日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）・アーツ カウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）	様々な形で神との関わりを示す日本、インド、トルコの舞踊を上演し、伝統芸能からコンテンポラリーダンスを通して、舞台芸術と文学のジャンルを超えた文化の発信を目指す。 ①日本舞踊：天下太平、五穀豊穡を祈る長唄「翁千歳三番叟」 ②インド古典舞踊：「オディッシー」 ③トルコ舞踊：メヴラーナ旋回舞踊「セマー」 ④コンテンポラリーダンス：『古事記』の"国生み"を題材に、四季折々の風土、文化を育む日本の誕生を描いた「いのちの海の声が見える」（創作初演）
29	国立能楽堂	東京都	新作狂言帖 ー豊かな自然ー	愛知県：令和元年5月5日、11月1日・2日 岐阜県：令和元年5月6日 石川県：令和元年6月14日	愛知県、岐阜県、石川県	舞台芸術	主催：CBCテレビ・中日新聞（5/5）、岐阜県関市（5/6）、公益財団法人金沢芸術創造財団（6/14）、公益財団法人豊田市文化振興財団（11/1）、愛知県半田市（11/2） 制作：国立能楽堂	清流を泳ぐ鮎が多数登場し、貧しくとも豊かな自然の恵みを受けて田舎で暮らす者とあくまで都市での栄達を目指す若者の二人を対照的に描く物語である。「自然環境」、「地方と都市」といった現代日本が抱える問題に示唆を与える作品でもある。新作狂言以外には初心者向けの解説や人間国宝・野村万作による古典名作狂言等を同時に上演する。
30	国立文楽劇場	大阪府	文楽公演 通し狂言「仮名手本忠臣蔵 ー日本人の心と四季ー」（三公演連続上演）	平成31年4月6日～29日 令和元年7月20日～8月5日 令和元年11月2日～24日	大阪府	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	人形浄瑠璃文楽の『仮名手本忠臣蔵』は、日本人の「忠義」という美しい心を描き、日本の四季の移ろいの中で物語が進行する時代物の三大名作の一つで、発端（春）から本懐（冬）までが日本の四季の移ろいの中で進行する。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要☒
31	新国立劇場	東京都	森山開次「NINJA」	令和元年5月31日～6月2日、5日、7日～9日	東京都	舞台芸術	主催：公益財団法人新国立劇場運営財団 後援：渋谷区教育委員会、東京私立初等学校協会、東京都公立小学校長会 特別支援：(株)オンワードホールディングス、花王株式会社、株式会社TBSテレビ、トヨタ自動車株式会社、びあ株式会社、株式会社日立製作所	森山開次の新作ダンス『NINJA』を制作・上演し、日本人の現代舞踊における美意識を体現。日本独自の風土や歴史から誕生した忍者という題材を通じて、またダンスという言葉によらない芸術を通して、幅広い観客層が楽しめる公演を目指す。
32	国立科学博物館	東京都	100年前の東京と自然－プラントハンターウィルソンの写真から－	平成31年4月13日～令和元年6月16日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立科学博物館 協力：古居智子、ハーバード大学アーノルド樹木園、一般社団法人沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美術館、東京大学大学院理学系研究科附属植物園、公益社団法人屋久島環境文化財団、東京新聞、琉球新報社	日本のサクラやツツジを西欧に広め、日本の植物学の発展に貢献したイギリス出身のアーネスト・ヘンリー・ウィルソンが、およそ100年前に日本を訪れた際に残した写真と同じアングルから撮影した現在の写真を展示。
33	国立科学博物館	東京都	日本人が育んださくらそうの文化史	平成31年4月6日～14日	東京都	食文化・自然	主催：独立行政法人国立科学博物館、筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター 協力：筑波大学大学院生活環境科学研究科育種学分野、筑波大学さくらそう里親の会、NPOつくばアーバンガーデニング	サクラソウの園芸品種を通して、日本人が野生の植物がもつ様々な遺伝的特性に気づき愛でてきた、室町時代から続く歴史があることを伝える。
34	国立科学博物館	東京都	四季と生き物たち	令和元年6月～8月	東京都	食文化・自然	主催：国立科学博物館附属自然教育園 協力：白金自然写真クラブ	自然教育園は、都会の中のアオアシスともいえる貴重な森林を有する。その自然の四季折々の変化を捉えた写真を展示することで、春夏秋冬の変化に富んだ日本の自然のすばらしさを伝える。
35	日本芸術院	東京都	近代日本芸術の100年－日本芸術院創設百周年記念展	第2回 令和元年5月1日～13日 第3回 令和元年9月20日～10月6日 第4回 令和2年1月10日～23日 第5回 令和2年7～8月頃 第6回 令和3年1月頃 ※第1回は平成31年1月に終了	東京都	美術・文化財	主催：日本芸術院	日本芸術院会員や恩賜賞・日本芸術院賞受賞者の「自然」にまつわる作品を中心に公開することで、激動の日本近代美術界を牽引してきた名だたる作家たちの、時代を代表する作品を展覧し、日本の美を体現する。
36	Reborn-Art Festival実行委員会	宮城県	リボンアート・フェスティバル	令和元年8月3日～9月29日	宮城県	地域芸術	主催：Reborn-Art Festival 実行委員会、一般社団法人APバンク 共催：宮城県、石巻市、塩竈市、東松島市、松島町、女川町、株式会社河北新報社、東日本旅客鉄道株式会社仙台支社、ヤフー株式会社	現代アートと音楽、食の3分野のアーティストが集まり、復興の中で「生きる術」を発揮してきた地域住民との共創で織りなす総合芸術祭として、一層の地域発展と国内外来客数の増加を目指す。
37	日本舞踊協会	東京都	第3回日本舞踊 未来座=彩 (SAI) = 「春夏秋冬」 「槍男=びのきお=」	令和元年6月21日～23日	東京都	舞台芸術	主催：公益財団法人日本舞踊協会 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活性化事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会	日本舞踊の作品には、日本人の自然観、死生観などが色濃く反映されている。日本舞踊の持つ日本人ならではの繊細で細やかな多彩な舞踊表現を用い、内容やテーマも現代の観客や外国人にもわかりやすい新作を提供する。
38	瀬戸内国際芸術祭実行委員会	香川県	瀬戸内国際芸術祭	平成31年4月26日～令和5月26日 令和元年7月19日～8月25日 令和元年9月28日～11月4日	香川県	地域芸術	主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会	地域資源を生かしたアートプロジェクトや「食」に関する取組を通じて、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内が地球上のすべての地域の「希望の海」となることを目指す。
39	第35回国民文化祭宮城県実行委員会 第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会	宮城県	第35回国民文化祭・みやぎ2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやぎ大会	令和2年10月17日～12月6日	宮城県	地域芸術	主催：文化庁、厚生労働省、宮城県、宮城県教育委員会、市町村、市町村教育委員会、第35回国民文化祭宮城県実行委員会、第35回国民文化祭宮城県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会	宮城県が誇る文化資源である「日向神話」や「神楽」などを国内外に発信するほか、県内全市町村において、音楽や演劇、美術や書道、郷土芸能など広く親しまれた芸術・文化に加え、新たなジャンルの文化や「山の幸」「海の幸」が生み出す豊かな食文化など、様々な文化を楽しむことができる事業を予定。
40	日本芸術文化振興会	東京都	東京シシマイコレクション2020プレ～東日本大震災から復活したシシマイ～	令和元年5月11日～12日 令和2年1月	東京都	被災地復興	主催：独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所、独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館、独立行政法人日本芸術文化振興会	「獅子舞」は、豊作祈願や大漁祈願など自然に対する祈りの形でもあり、東日本大震災の後には、地域の復興や精神的な救済に大きく貢献してきた。被災地の獅子舞の豊かな表現を訪日外国人を含めた多くの人に知ってもらい、あわせて被災地への誘客も図る。
41	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会（新潟県県民生活・環境部文化振興課内）	新潟県	第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会	令和元年9月15日～11月30日	新潟県	共生社会・多文化共生	主催：文化庁、厚生労働省、新潟県、第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会、市町村、市町村実行委員会、全国及び県内の文化関係団体等	国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭を新潟で初めて開催。北前船によって海路から上方文化、陸路から江戸文化が新潟の地で交差・融合し、「文化の丁字路（ていじろ）」が形成された。地理的な歴史や独特な風土に由来する豊かな文化創造力を国内外に発信し、障害のある人もない人も共に楽しみ、街道を分かち合う。
42	六本木アートナイト実行委員会	東京都	六本木アートナイトを中心としたアートの拠点及びネットワーク事業	平成31年4月1日～令和2年3月31日（その後も継続予定） ※六本木アートナイト2019 <メインイベント> 令和元年5月25日・26日	東京都	美術・文化財	主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】	舞台である「街」は、歴史と共に育まれてきたという点で「自然」との共通点を持ち、さらに構成要素としても「自然」の一部を内包しうる。六本木アートナイトはダイバーシティの象徴のような六本木エリアという「街」を存分に生かしながら、日本の中でも最先端のヒト・モノ・情報が集積し、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、演劇、舞踊などを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を作り出す。
43	京都国立博物館	京都府	流転100年 佐竹本三十六歌仙と王朝の美	令和元年10月12日～11月24日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館、日本経済新聞、NHK京都放送局、NHKブラネット近畿総社、京都新聞	和歌は「やまとうた」とも言われるように日本固有の詩の形式であり、和歌には日本の自然とそれを感じる日本人の心も多く詠まれている。また、関連する文化財の中にも多くの日本の自然が表現されており、展示を通じて日本人の自然観、価値観を紹介する。
44	国立公文書館	東京都	雨に詠えば 一空模様の古典文学－	令和元年7月27日～9月8日	東京都	美術・文化財	主催：独立行政法人国立公文書館	身近な気象現象である雨をテーマに、上代から近世までに成立した様々な古典文学について、国立公文書館の所蔵資料により紹介する。本展では、「雨」にかかわる様々な表現による歴史的な和歌、物語と挿絵など多くの歴史資料を展示することを通じ、古来からの伝統と自然を日本人が体現してきた「日本の美」を発信する。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要☒
45	国立劇場	東京都	歌舞伎鑑賞教室 解説「歌舞伎のみかた」 「神靈矢口渡」	令和元年6月2日～24日（国立劇場）、令和元年6月26日（静岡公演）	東京都、静岡県	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会 後援：文化庁／東京都／埼玉県／千葉県／埼玉県教育委員会／千葉県教育委員会／神奈川県教育委員会／ 全国都道府県教育委員会連合会／公益財団法人日本修学旅行協会 協力：公益社団法人東京都専修学校各種学校協会／一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会／関東高等学校演劇協議会／ 東京都高等学校演劇研究会／株式会社JTB／株式会社日本旅行／株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 静岡公演における協力：公益財団法人静岡県文化財団／静岡県	『神靈矢口渡』は、多摩川の渡し船の一つであった「矢口の渡し」を舞台としており、日本独特の自然と景観を背景とした人間ドラマが描かれている。本作の上演を通して、日本人の洗練された美意識と独特の感性に根付いた伝統芸能「歌舞伎」を次世代に伝え、新たな観客層の開拓を図るとともに、2020年東京大会を目前に控え、多言語対応の充実や体験型ワークショップの実施を通して、歌舞伎の魅力を世界に発信する。
46	国立能楽堂	東京都	外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN	令和元年5月29日、10月31日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会国立能楽堂	能・狂言は日本の自然無しには成立しなかった伝統芸能であり、本事業で上演される作品も「日本人と自然」というテーマにふさわしい内容となっている。多言語化されたパンフレットや字幕による解説を設けることで、訪日外国人の誘客を図る構成となっている。また短時間で効果的に能・狂言の魅力を伝えることのできるコンパクトな内容は、能・狂言普及のプロトタイプのひとつとして、今後のレガシーとなる可能性を大いに含むものである。
47	国立能楽堂	東京都	国立能楽堂ショーケース	令和元年7月24日～26日、8月25日～27日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会国立能楽堂	能・狂言は日本の自然無しには成立しなかった伝統芸能である。本事業で取り上げる作品も、狂言の「伯母が酒」では酒、「柿山伏」では柿と、我が国の自然が生んだ飲食物が作品の鍵となっている。また能も、「小鍛冶」では稲作の神である稲荷明神が、古くから靈獣として扱われている狐の姿となって活躍し、「安達原」は日本の原風景ともいえるスキ生い茂る秋の情景が象徴的に描かれ、福島・安達ケ原を舞台に同地に伝わる鬼女伝説を取り入れた作品であり、古来から伝わる伝説や日本人特有の感性が色濃く反映されている。
48	能登ふるさと博開催実行委員会	石川県	能登ふるさと博	平成31年4月1日～令和2年3月31日	石川県	地域芸術	主催：能登ふるさと博開催実行委員会 後援：北國新聞社	能登半島全体を一つのフィールドに見立て、能登地域が一体となってさまざまなイベントを開催することにより、にぎわいの創出を図るとともに、「元氣な能登」を全国に発信する。
49	石川の四季観光キャンペーン実行委員会	石川県	金沢城・兼六園四季物語	平成31年4月5日～令和2年2月16日	石川県	地域芸術	主催：石川の四季観光キャンペーン実行委員会 後援：北國新聞社	金沢城公園や玉泉院丸庭園、兼六園を舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてライトアップ等のイベントを開催し、観光石川の魅力を国内外にアピールすることで、石川ファンの増やし、観光誘客を図る。
50	徳島県	徳島県	とくしま夏の音楽祭2019	令和元年7月6日～7日	徳島県	地域芸術	主催：徳島県 協力：徳島県邦楽協会、徳島文理大学ほか	徳島に息づく音楽文化は、豊かな自然と人々の暮らしが生んだ伝統文化「阿波藍」を源流とし、かつて「阿波藍」がもたらした莫大な富が「阿波人形浄瑠璃」や「阿波おどり」を育んできた。それぞれに共通する笛、三味線をはじめとする邦楽が盛んなことに加え、「四国遍路」の玄関口として息づくお接待の精神が「ベートーヴェン第九」アジア初演に繋がったことからクラシック音楽も長く親しまれている。このような多彩な音楽文化を発信し、その魅力に触れる音楽祭を実施する。
51	文化庁	東京都	発掘された日本列島2019	令和元年6月1日～7月21日、8月2日～9月10日、9月21日～11月4日、11月16日～12月28日、令和2年1月18日～2月26日	東京都、岩手県、青森県、愛知県、福岡県	美術・文化財	主催：東京都江戸東京博物館、花巻市博物館、三内丸山遺跡センター、名古屋市博物館、大野城心のふるさと館、全国新聞社事業協議会、東京新聞、岩手日報社、東奥日報社、中日新聞社、西日本新聞社 協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、共同通信社、公立財団法人元興寺文化財研究所 後援：全国史跡整備市町村協議会	埋蔵文化財の発掘調査によって、旧石器時代以来、人は日本列島の多様な気候風土に適応して、多彩な生活文化を紡ぎあげてきたことが分かっている。その中には、自然への畏敬を表した「造形美」、生活に直結した「機能美」など、豊かな美意識を見て取ることができ、日本列島の多様な自然に適応した生活文化の隅々に美意識が刻まれている。国民に日本の文化と歴史により深く、身近に親んでもらう。
52	国立劇場	東京都	歌舞伎鑑賞教室 解説「歌舞伎のみかた」 「菅原伝授手習鑑 一車引」 「棒しばり」	令和元年7月3日～24日（国立劇場） 令和元年7月26日～27日（神奈川公演）	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	『菅原伝授手習鑑一車引』は、「梅・松・桜」という日本の自然を象徴する木を名に冠した三つ子の兄弟をめぐる物語で、日本人が古来より親しんできた自然に対するイメージが随所に投影されている。『棒しばり』は食に対する古来からの日本人の心性が垣間見える外国人にも楽しめる作品。両作の上演を通して、日本人の洗練された美意識と独特の感性に根付いた伝統芸能「歌舞伎」を次世代に伝え、新たな観客層の開拓を図るとともに、2020年東京大会を目前に控え、多言語の対応によって歌舞伎の魅力を世界に発信することも視野に入れる。今回は初めて伝統芸能にあわせて、華道等の日本の伝統的な生活文化についても体験できる場を試行的に提供する。
53	米沢上杉文化振興財団	山形県	生誕100年 日本画家 福王寺法林 ～自然へのまなざし～	令和元年 6月15日～8月4日	山形県	美術・文化財	主催：米沢市上杉博物館 協力：大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 後援：山形新聞・山形放送	法林の創作の根源には故郷山形の森や植物、日本の山河への畏敬や感動がありヒマラヤに挑むことで、日本の自然への想いはさらに深まり、その作品は私たちに日本を再発見させる。本展では、上杉博物館のコレクションを軸に国内にある代表作により、文化勲章受章者でもある福王寺法林の画家として、人間としての歩みに迫る。
54	国立大学法人京都工芸繊維大学	京都府	京都工芸繊維大学開学120周年創立70周年記念事業 「Re Design × KYOTO (リ・デザインバイキョウト)」	令和元年5月15日～令和2年3月末	京都府	デザイン・ファッション	主催：京都工芸繊維大学 協力：京都市（京都デザインビエンナーレのみ）	前身校開学120周年・大学創立70周年記念事業として、「京都」が持つ伝統と、京都工芸繊維大学の強み・特色である「デザイン」が融合することによる革新《リ・デザイン》を、大学収蔵資料展示や、都市観光、文化財保存・活用、デザイン・ファッション等をテーマとしたシンポジウム、ワークショップ等の催事を通じて表現する。開催にあたっては、「日本人と自然」のテーマを踏まえつつ、訪日外国人が多く集まる京都市の北山地区（本学）、岡崎地区（みやこメッセ）を拠点とし、訪日外国人の集客に寄与する。
55	京都国立博物館	京都府	京都国立博物館夏期講座	令和元年7月26日～27日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館	「日本人と自然」のテーマに沿って、館の内外の研究者が「木のほとけ」、「オランダの風土と絵画―平坦な大地と光の魅力―」、「巡礼・遊行・観光」、「中世社境内の風景―絵図・縁起絵・参詣遊楽図―」、「仏典にみる自然―蝶と鳥の意味のするもの―」、「モネの庭と日本人の自然観」という全6講の講義を行う。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要☒
56	国立劇場	東京都	舞踊公演「花形・名作舞踊鑑賞会」	令和元年8月3日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	日本の風土や自然と密接に関わり合いながら磨かれてきた日本舞踊の魅力を示す。本公演は、歌舞伎舞踊の名作を華と実力を兼ね備えた花形舞踊家により上演することで日本舞踊の華やかさや面白さをアピールするもので、2005年より開催しているシリーズである。 本年度は須磨の浜辺を思わせる「汐汲」、初春の栗餅売りの姿を描く「栗餅」、咲き誇る桜を背景とする「吉野山」「女伊達」など、自然や季節感にとくに着目した構成とし、日本舞踊に馴染みのなかった観客層にも親んでもらえることを期す。 また、外国人の鑑賞者も舞台を楽しめるよう、ホームページでの英語での情報発信や公演当日の英語による解説の配布など対応の充実を図る。
57	国立劇場	東京都	舞踊公演「舞の会—京阪の座敷舞—」	令和元年8月31日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	日本の風土や自然と密接に関わり合いながら磨かれてきた日本舞踊の魅力を示す。本公演は、主に京都や大阪など上方の花街の座敷を中心に舞われ、独自の舞踊美の世界を作り上げてきた「座敷舞」を特集する。京阪の四流（井上・榎茂都・山村・吉村）を中心に座敷舞の第一人者がつどう場として、他に類のない企画となっている。夏に縁ある「たにし」や秋を描く「闇の扇」「木津川」「由縁の月」、山々の四季の情趣を綴る「山姥」など、季節や自然の情景を綴るものを中心に構成し、歌舞伎舞踊のような大道具なしに自然を舞う座敷舞の世界を楽しんでもらうことを目指す。また、外国人の鑑賞者も舞台を楽しめるよう、ホームページでの英語での情報発信や公演当日の英語による解説の配布など対応の充実を図る。
58	米沢上杉文化振興財団	東京都	日本画家 福王寺一彦・福王寺みどりこの世界	令和元年6月19日～30日	山形県	美術・文化財	主催：米沢市上杉博物館 後援：山形新聞・山形放送	日本美術界の重鎮福王寺法林を父に持ち、日本の風景をモチーフに幽玄かつ神秘的な絵画世界を特徴に活躍する日本美術院同人、日本藝術院会員 福王寺一彦と、同じ院展で活躍し一彦の弟子であり、夫人でもある福王寺みどりこの二人がそれぞれに導き出した独自の技法による日本画の美しく、繊細な色彩の重なりと、真摯な自然へのまなざしを紹介。
59	国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会	岐阜県	国際陶磁器フェスティバル美濃'20	令和2年9月18日～10月18日	岐阜県	美術・文化財	主催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 後援：外務省/経済産業省/国土交通省/文化庁 他 協賛：地元企業 多数	国際陶磁器フェスティバル美濃は、陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流を通じた更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目的として、「土と炎の国際交流」をテーマに、1986年以降、3年に1度開催されるトリエンナーレとして継続的に開催している。また、地元陶磁器業界や美濃陶産地に密着した事業を企画し、来場者に対しては、陶磁器はもちろん、美濃の自然や歴史など、その魅力を楽しんでもらうことで地域全体の発展も目指している。
60	奈良文化財研究所	奈良県	2018年飛鳥藤原地区発掘調査速報展	令和元年7月1日～12月27日（予定）	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	2018年は、藤原宮大極殿院の調査、飛鳥寺北方の調査など、飛鳥・藤原地域において重要な遺跡の発掘がおこなわれた。また、坂田寺や石神遺跡等でも研究員による研究成果が報告されている。本展示ではこのような最新の研究成果を出土遺物や写真パネルなどを用いて広く発信する。特に藤原宮や飛鳥の寺院の造営では、古代の人々が時には自然と対峙し、大規模な造成や工事をおこなっている。本展示では、いかに彼らが創意工夫しながら、都や寺院を作り上げていったのか、その一端を紹介したい。
61	奈良文化財研究所	奈良県	令和元年度夏期企画展飛鳥資料館 第10回写真コンテスト「飛鳥の古墳」	令和元年7月19日～9月1日	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 後援：文化庁、国営飛鳥歴史公園、明日香村、朝日新聞社、読売新聞奈良支局、 毎日新聞社奈良支局、奈良新聞社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社、一般財団法人明日香村地域振興公社 協賛：岡村印刷工業株式会社、株式会社堀内カラー、コクヨ株式会社、NPO法人明日香の未来を創る会、両槻会	日本の歴史や文化の奥深さと、自然と人々の暮らしが一体となった飛鳥の魅力を再発見できる写真コンテストを「古墳」をテーマに開催する。飛鳥地域に分布する古墳を、当地の自然や人々の営みとともに写した写真を一般から広く公募し、応募作を飛鳥資料館で展示。飛鳥の歴史や文化が、現代の人々や自然との連続性を持つものであることを、「古墳」を切り口にコンテストを通してアピールし、日本の歴史や文化の奥深さを発信する。
62	奈良国立博物館	奈良県	特別陳列「法徳寺の仏像—近代を旅した仏たち—」	令和元年7月13日～9月8日	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館、法徳寺 協力：仏教美術協会	法徳寺（奈良県奈良市、融通念仏宗）に所蔵される約30躯の仏像は、近年ある大阪の実業家から寄進されたものである。仏像たちの出自を辿ると、そのほとんどが奈良の寺院に求めることができる。明治時代初期、全国に吹き荒れた神仏分離、廃仏毀釈の波は容赦なく奈良の寺院にも及び、仏像をはじめ多くの文化財が流出したのである。寄進は仏像たちの里帰りという意味を有する。仏像は鎌倉時代の作品が多く、柔らかな人体表現、随所に見られる植物文様など、自然描写の巧さは見事である。日本人が自然を見つめ、それを立体作品として表現するときの芸術性を感じ取ることができる。
63	奈良国立博物館	奈良県	御即位記念 第71回正倉院展	令和元年10月26日～11月14日	奈良県	美術・文化財	主催：独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館 協賛：岩谷産業、NTT西日本、関西電気保安協会、京都美術工芸大学、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、シオノギヘルスケア、ダイキン工業、大和ハウス工業、中西金属工業、丸一銅管、大和農園 特別協力：読売新聞社 協力：NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会、ミネルヴァ書房、読売テレビ	正倉院宝物は中国・唐、朝鮮半島・新羅、そして日本の奈良時代など、8世紀に製作された品が主体である。宝物は9000件にも及び、展示される宝物は正倉院の全貌がうかがえるよう、調度品、仏具、飲食器、染織品、文書、経典など様々な分野から選択されている。一般的に国風文化は平安時代より始まるとされるが、既に正倉院宝物には身近な草花や鳥、虫などを愛でる日本人の感性が感じられる。そのような細部表現を鑑賞できるよう拡大写真等も会場に置く配慮も行う。
64	京都国立近代美術館	京都府	円山応挙から近代京都画壇へ	令和元年11月2日～12月15日	京都府	美術・文化財	主催：独立行政法人国立美術館京都国立近代美術館、朝日新聞社、京都新聞、NHK京都放送局	18世紀、様々な流派が百花繚乱のごとく咲き乱れる京都で、円山応挙は写生画で一世を風靡し円山派を確立した。また、与謝蕪村に学び応挙にも師事した呉春によって四条派が興り、写生画に瀟洒な情趣を加味して新たな一派が誕生した。この二派は円山・四条派としてその後の京都の主流となり、近代にいたるまで京都画壇に大きな影響を及ぼした。本展は、応挙、呉春を起点として、長沢芦雪、渡辺南岳、岸駒、岸竹堂、幸野煤嶺、塩川文麟、森徹山、菊池芳文、竹内栖鳳、山元春挙、上村松園ら近世から近代へと引き継がれた画家たちの系譜を、一挙にたどるものである。
65	岐阜県	岐阜県	清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020	令和2年4月18日～6月14日	岐阜県	美術・文化財	主催：岐阜県、清流の国ぎふ芸術祭Art Award IN THE CUBE 2020実行委員会	想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とした革新的な企画公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020（AAIC2020）」を開催。AAIC2020のテーマは「記憶のゆくえ」。世代やジャンルを問わず、4.8m（幅）×4.8m（奥行）×3.6m（高さ）のキューブ空間を使い、テーマを自由に表現した作品を国内外から募集。2020年4月18日（土）～6月14日（日）の間、岐阜県美術館と岐阜県図書館にて、入選作品を展示します。
66	岐阜県	岐阜県	地歌舞伎推進プログラム 「清流の国ぎふ 秋の地歌舞伎公演2019」	令和元年11月23日	岐阜県	舞台芸術	主催：岐阜県、（公財）岐阜県教育文化財団	30を超える地歌舞伎保存団体が盛んに活動する日本一地歌舞伎が熱い「地歌舞伎大国・岐阜」。今回は、明智光秀にちなんだ演目を中心に、加子母歌舞伎保存会、東白川村歌舞伎保存会、明智町歌舞伎保存会の3団体による公演会を開催します。
67	岐阜県	岐阜県	2020地歌舞伎勢揃い公演	令和2年1月19日～7月	岐阜県	舞台芸術	主催：岐阜県、（公財）岐阜県教育文化財団	30を超える地歌舞伎保存団体が盛んに活動する日本一地歌舞伎が熱い「地歌舞伎大国・岐阜」。世界が目指す東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年を本県の魅力発信の好機と捉え、1月から7月までの間、毎月、県内の地歌舞伎保存団体が順次公演します。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
68	日本酒造協会中央会	東京都	国際空港國酒キャンペーン	令和元年7月1日～令和2年3月31日	千葉県、東京都、愛知県、大阪府	食文化・自然	主催：日本酒造組合中央会 後援：国税庁 後援：観光庁	近年和食が文化遺産になり、それに伴い日本國酒(日本酒、焼酎、泡盛)の文化的意義、歴史的意味にも注目が集まり始めている。日本酒は日本の季節や年中行事、祭事や食文化に大きく結びついた日本の文化である。また、本格焼酎・泡盛は日本の気候風土によって育まれた様々な趣を用いられており、その地域性の高い原料を用いた酒造り、食文化を形成してきた独自の文化がある。そのような國酒を訪日外国人に対して國酒の文化啓蒙活動をしていく。
69	文化庁	東京都	DOMANI・明日2020 日本博スペシャル展—文化庁新進芸術家海外研修制度の成果(仮称)	令和2年1月11日～2月16日	東京都	美術・文化財	主催：文化庁、国立新美術館 協力：日本航空(予定)	平成の時代に作家を目指し、海外研修し、国内外での活動経験を持った15名程度の作家による近作、最新作を、「自然の摂理、時間の蓄積」「傷ついた自然と再生」「小さきもの—昆虫の世界」「庭へ」等のテーマによって、国立新美術館の天井高さに恵まれた2000平米の豊かな空間に展示する。
70	パナソニック株式会社ブランドコミュニケーション本部 パナソニックセンター東京	東京都	特別企画展「SPORTS×MANGA」	令和元年7月13日～9月29日	東京都	メディア芸術	主催：パナソニック株式会社 協力：アングレーム 後援：International Olympic Committee、日本オリンピック委員会	日本を代表する文化の一つ、「マンガ」。日本のもつ四季や自然から育まれた感性は、日本人ならではの豊かで多彩な表現を生み、これまで世界中の人々を魅了してきた。今回パナソニックは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会や、パリ2024大会を見据え、スポーツをフィーチャーしたマンガ展を開催。日本人の感性(間合い・空気・表情)でとらえたとき、スポーツの魅力はどう映るのか。フランスのアングレーム国際漫画祭を手掛けるキュレーターや、日本の大手出版社の協力を得ながら、マンガが人々に伝えてきたスポーツの魅力を再考する。
71	公益社団法人能楽協会	東京都	ESSENCE能 ～見どころ!ぎゅっと凝縮・能楽アンソロジー～	令和元年7月31日、8月4日	東京都	舞台芸術	主催：公益社団法人能楽協会、一般社団法人日本能楽会 協賛：独立行政法人日本芸術文化振興会(国立能楽堂) 特別協力：富士通株式会社、読売新聞社、KNT-CTホールディングス株式会社	能楽界が贈る2020年オリンピック・パラリンピックに向けたイベント。能楽はまさに日本の誇る自然や美意識が凝縮された芸術といえるが、本公演ではそのエッセンスを集め、あらゆる方々が能楽を享受する場を提供する。4つのテーマを掲げ、四季の風情を謳いつつ、多様性や普遍性が織り込まれた演目を並べたことで、能楽の魅力余すことなく伝える文化祭典である。
72	公益財団法人 日本いけばな芸術協会	東京都	第52回日本いけばな芸術展	令和元年10月1日～8日	東京都	生活文化・文芸・音楽	主催：公益財団法人日本いけばな芸術協会 その他 後援：文部科学省、農林水産省(申請予定)	日本人は古くから自然に対し、畏怖の念や特別の思いをもってきた。また、植物は季節のモチーフとして生活の中に取り入れられてきた。「いけばな」は、長い時間の中で多様に発展し、植物を単なる飾りではなく「美」に昇華してきた。そのようないけばなは全国に多くの流派が派生している。その流派横断的な全国規模のいけばな展覧会を開催。
73	群馬県立歴史博物館	群馬県	群馬県立歴史博物館100回企画展「ハート形土偶大集合!—縄文のかたち・美、そして岡本太郎—」	令和元年9月28日～12月1日	群馬県	美術・文化財	主催：群馬県立歴史博物館	群馬県地域の縄文文化を代表し、秀逸な造形美を誇るハート形土偶(群馬県吾妻郡東吾妻町郷原遺跡出土)。この土偶を軸にハート形土偶の移り変わりを概観するとともに、それ以前や以降の代表的な土偶も紹介します。また、土偶以外の縄文時代の祭りに関するの道具も展示し狩猟採集民である縄文人の祈りについて考えていきます。さらには、縄文土器の造形美から縄文の美を再発見した岡本太郎の作品を通じて、私たち現代人にも受け継がれている縄文人の感性を呼び覚ますものとして。
74	国立劇場	東京都	文楽公演 第一部「心中天網島」/第二部「嬢景清八嶋日記」「艶容女舞衣」	令和元年9月7日～23日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)	江戸時代から大阪の地で連続と受け継がれる人形浄瑠璃文楽を上演することで、過去より生まれ、洗練されてきた日本人の美意識を現代に伝える。また、外国人の鑑賞者も舞台を楽しめるよう、ホームページにおける英語での情報発信や公演当日の英語を併記した解説書の販売など対応の充実を図る。
75	宮崎県国民文化祭・障害者芸術文化祭課 記紀編さん記念事業推進室	宮崎県	みやざきの神楽福岡公演2019	令和元年7月28日	福岡県	舞台芸術	主催：宮崎県 共催：高千穂町、一般社団法人高千穂町観光協会	人が自然と向き合いながら舞として受け継がれてきた「神楽」を「日本人と自然」のテーマの下で、神楽の魅力国内外の多くの方々に知っていただき、実際に現地でも神楽奉納を鑑賞していただくため、福岡市での神楽公演を通じて、みやざきの神楽を国内外へ広く発信するための取組である。
76	国立科学博物館	東京都	江戸・東京の伝統工芸—職人の技(ワザ)—	令和元年8月9日～14日	東京都	生活文化・文芸・音楽	主催：国立科学博物館 協力：台東区伝統工芸振興会 共催：台東区	小学生・中学生世代を中心に子供連れの家族や高齢者層、また、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に大きな増加が予想される訪日外国人旅行者及び観戦者層も主な対象にして、受け継がれる職人の技(ワザ)や日本の生活文化について、職人との対話が可能な製作実演のコーナーや職人の指導によるものづくり体験コーナー、関連する工芸品の展示や解説等の構成で紹介する。
77	岐阜県教育文化財団	岐阜県	tomoni県民ミュージカル 心の翼	令和元年9月14日	岐阜県	共生社会・多文化共生	主催：岐阜県 協力：(一財)岐阜県身体障害者福祉協会	小川剛矢氏が挑んだ車椅子での岐阜県縦断マラソンの挑戦が、事故で右腕の機能を失った井上嘉代子氏に新しい一歩を踏み出す勇気を与えることになった実話をもとに作成されたオリジナルミュージカルを上演する。出演者にはプロのミュージカル俳優の川平慈英氏のほか、岐阜県出身でリオデジャネイロパラリンピックでセレモニードダンスを披露した義足のプロダンサー大前光市氏と県民出演者(健常者)をダンサーに迎える。また、劇中で使用する音楽の一部については、身体障がい者の曾我部弘樹氏の作詞・作曲の歌を使用し、それを劇中で視覚・身体障がい者であるピアニストの桑原良恵氏が演奏する。
78	信濃川火焰街道連携協議会	新潟県	火焰型土器と縄文文化の魅力発信事業	令和元年6月21日～令和2年3月31日	新潟県	美術・文化財	主催：新潟市、三条市、長岡市、十日町市、魚沼市、津南町ほか	縄文関連の博物館や自然豊かな地域の祭り等をめぐるバスツアー、ミニ土器づくりや火焰土器に触れることができるイベント、縄文時代から変わらない川の恵みに感謝する鮭の稚魚放流、新潟県立歴史博物館と小学校が縄文文化をテーマに連携して交流学习を行う博学連携プロジェクトなど、自然と共生した縄文文化を体感できるイベント等を開催する。また、協議会に加盟する各市町や新潟県立歴史博物館において縄文に関する展示を開催するとともに、日本遺産である信濃川流域の火焰型土器をwebや各種メディアをとおして国内外に発信する。
79	いちばらアート×ミックス実行委員会	千葉県	房総里山芸術祭 いちばらアート×ミックス2020	令和2年3月20日～5月17日	千葉県	美術・文化財	主催：いちばらアート×ミックス実行委員会 協力：小湊鐵道株式会社を予定 その他：近隣自治体による後援を予定 協賛：市内企業を予定	里山などの豊かな自然・悠久の歴史など豊富な地域資源を有しながらも人口減少・少子高齢化が進む市の南部地域に、国際的に影響力を有する国内外のアーティストが制作活動や生活の場所のひとつとして継続的に入り込み、廃校や自然を活かした現代アートを展示することでアートと様々な地域資源を融合する。
80	文化庁	東京都	百花繚乱 新たな国民のたから-文化庁購入文化財展-	令和元年7月27日～8月25日	新潟県	美術・文化財	主催：文化庁、新潟県立歴史博物館	近年、国(文化庁)が購入した絵画、彫刻、工芸、書跡、考古資料等の幅広い分野における文化財を通して、古代より自然の中で育まれてきた日本人の美意識を展示することができる「新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—」を新潟県立歴史博物館と共に開催する。併せて、新潟の地において製作された無形文化財、宮内庁が所蔵する新潟ゆかりの文化財を展示する。
81	上野文化の杜新構想実行委員会	東京都	UENOYESバルーンDAYS2019(仮称)	令和元年11月9日、10日	東京都	美術・文化財	主催：上野文化の杜新構想実行委員会 共催：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)	上野の文化施設に来ることが困難な人や文化プログラムを疎遠に感じている人を招き入れるプロジェクト。福祉施設、児童養護施設等とネットワークづくりや交流を経て、秋に上野公園で当事者とアーティストとの共同プロジェクトを行う。障害をお持ちの方、外国人の方等、誰もが上野へ訪れるためのアクセシビリティ向上を図る。誰もが障害なくアクセスするための具体的な方策や、子どもから大人まで幅広い層への参加を積極的に促す。東京藝術大学や近隣の学校との連携も図る。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要☒
82	国立演芸場	東京都	ワークショップ「はじめての演芸体験」・特別企画公演「演芸大にぎわい～東から西から～」	令和元年9月28日, 29日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会(国立演芸場) 協力：一般社団法人日本演芸家連合	寄席で演じられる多種多様な大衆芸能は、豊かな自然に恵まれた日本人の生活や感性と結びつき、長く庶民の娯楽として愛されてきました。今回のワークショップでは、これらの芸能を自分の体で体験して、その芸能の魅力を感じていただくとともに、希望者の方にプロの演芸家とともに仮設舞台で成果を披露していただきます。パンフレットや通訳を活用し、演芸が生まれた背景を分かりやすく解説するなど、訪日外国人が参加しやすい環境作りにも配慮します。
83	和文化・産業連携振興協議会	東京都	和文化・産業連携プロジェクト～日本橋から五大陸へ～「日本橋和文化体験見本市2019」	令和元年9月25日 令和元年7月26日にプレイベント開催	東京都	生活文化・文芸・音楽	主催：和文化・産業連携振興協議会	日本の自然が育てたイ草・花き・蚕糸・茶を素材とする、畳・生花・絹・製茶（煎茶・抹茶）が生み出した日本の文化を産地と関連付け、インバウンド旅行関係者に一度にすべての体験をする機会を設けることで、文化体験観光の促進のみならず、全国の産地特に、イ草の産地でもある被災地の熊本への誘客を図る企画。英字パンフレットを用意し、当日英語が可能なスタッフを配置。
84	新国立劇場運営財団	東京都	新国立劇場 こどものためのバレエ劇場2020「竜宮」（仮称）	令和2年7月25日～28日頃	東京都	舞台芸術	主催：公益財団法人新国立劇場運営財団新国立劇場	日本のおとぎ話「浦島太郎」を基にした新作バレエ。現代舞踊出身のダンサー・振付家である森山開次にバレエの企画・振付・演出を委嘱し、親子でも楽しめるバレエ表現を通じて、日本人の美意識を表現するとともに、バレエという言葉によらない芸術を通じ、国内外を問わず幅広い観客層が楽しめる公演を目指します。おとぎ話とは一味違った御伽草子のストーリーをベースにしつつ展開し、幻想的な世界の中で海の生き物たちの大演舞とともに美しい日本の四季が描かれます。
85	株式会社タオ・エンターテインメント	東京都	DRUM TAO 2019年新作舞台「ザ・ドラマーズ」全国43県津々浦々ツアー（仮称）	令和元年5月5日～令和2年3月22日	全国43県	舞台芸術	公演地により異なる。申請書を参照。	和太鼓エンターテインメント集団「DRUM TAO」が2019年新作舞台を制作。TAOは阿蘇くじゅう国立公園に拠点を構え、豊かな大自然の恵みと厳しさを受け独自の音楽性を創造し、また和太鼓に向き合うアーティストの強靱な精神と肉体を育んできた。太鼓は縄文時代から日本人の生活に密接に寄り添ってきた打楽器であり、現代でも和太鼓の音色は、馴染みのない者にも荘厳でどこか懐かしい、不思議な感情を呼び覚ます。その和太鼓を表現手段とし、古来に囚われないリズムや表現方法を用いて現代のあらゆる国籍・世代に広く受け入れられやすい舞台芸術を国内各地で展開。
86	株式会社北前船	新潟県	鼓童ワン・アース・ツアー2019「道」	令和元年9月14日～12月22日	埼玉県, 東京都, 神奈川県, 愛知県, 三重県, 兵庫県, 大阪府, 香川県, 愛媛県, 長崎県, 広島県, 鹿児島県, 熊本県, 鹿児島県, 新潟県, 茨城県, 千葉県, 京都府	舞台芸術	公演地により異なる。申請書を参照。	鼓童が約半世紀演奏してきた演目を基調として、オリジナルの様式から型を抽出し、今現在のコンテキストに置き換えて再構成する作品である。演奏技術にとどまらず、表現手法、美しい所作等、あらゆる面で鼓童の「レガシー」を日本全国の観客に届け、日本の文化芸術および当団体の活動をさらに未来へと繋いでいくことを目指す。国内各地の劇場で、本公演を通じて日本の風土や日本人の精神性、日本の素晴らしさを伝える。
87	国立能楽堂	東京都	企画公演「組踊上演300周年記念 能と組踊」	令和元年11月28日, 29日	東京都	舞台芸術	主催：日本芸術文化振興会 国立能楽堂 共催：組踊上演300周年記念事業実行委員会	玉城朝薫が創始上演してから300周年を迎える組踊に注目して、朝薫が作った組踊とその基となった能を同時に上演。国立能楽堂が国立劇場おきなわと連携して公演を制作、組踊上演300周年記念実行委員会に共催事業として登録することで、本年様々に展開される記念事業の一環として能及び組踊を国内外に発信していく。日本語（現代語）と英語の字幕表示を行うことで、訪日外国人の鑑賞にも対応。
88	東京国立博物館	東京都	日本書紀成立1300年特別展「出雲と大和」	令和2年1月15日～3月8日	東京都	美術・文化財	主催：東京国立博物館, 島根県, 奈良県, NHK, NHKプロモーション, 読売新聞社	自然を畏れ敬い、共生する中で生まれたのが神話である。神話のもつ物語の豊かさは文化の豊かさの表れでもある。『日本書紀』の冒頭に記された国譲りの神話によると、神々や祭祀の世界は「幽」、天皇が政治を司る世界は「顕」とされている。古代において出雲と大和は「幽」と「顕」を象徴する地であった。『日本書紀』編纂1300年を記念して行われる本展は、出雲と大和の名品を一堂に集めて紹介し、古代日本の成立やその特質に迫るものである。
89	横浜市芸術文化振興財団	神奈川県	横浜能楽堂 来館促進プロモーション事業	平成31年4月～令和2年3月	神奈川県	生活文化・文芸・音楽	主催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団横浜能楽堂 協力：神奈川県立青少年センター（伝統文化一日体験オープンデー） 連携：神奈川県立音楽堂, 神奈川県立図書館, 神奈川県立青少年センター, 横浜市民ギャラリー（紅葉ヶ丘まいらん）	日本の伝統文化にちなんだ講座・ワークショップと施設見学会を実施し、横浜能楽堂への来館を促し、古典芸能に親しみを深めてもらう事業。講座・ワークショップ、全館開放日（能楽鑑賞、和楽器体験、施設見学、ものづくり等のプログラムを全館で行う）を開催。施設は5席の車いす専用席（スペース）と障がい者専用駐車場を有する。外国語で対応できるスタッフ12名が「English Ok」のバッジを着用し対応。
90	横浜市芸術文化振興財団	神奈川県	横浜能楽堂普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」	令和元年12月22日	神奈川県	舞台芸術	主催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団横浜能楽堂	敷居が高いと言われがちな能楽に、少しでも親んでもらえるように、上演前の解説では、登場人物や舞台進行など、曲を理解する上で手助けとなるポイントをしっかり解説。併せて、能の定番曲ともいえる「羽衣」について、新たな視点からその魅力を紹介。当日は英語の演目あらずし、施設に5席の車いす専用席（スペース）と障がい者専用駐車場を用意。外国語で対応できるスタッフ12名が「English Ok」のバッジを着用し対応。
91	松竹株式会社	東京都	スーパー歌舞伎II 新版オグリ	令和元年10月6日～11月25日	東京都	舞台芸術	主催：松竹株式会社	歌舞伎は、常に日本の豊かな自然との関わりの中で物語を表現してきた。現在の歌舞伎公演においてもそのコンセプトは変わらず、日本人の生活に不可欠な季節感の中で人間がいかに生きているかを表現する演目を上演している。『スーパー歌舞伎II 新版オグリ』では、歌舞伎に現代感覚の技法を取り入れたスペクタクルな舞台として評価されてきたスーパー歌舞伎を継承発展させ、実力ある花形俳優で上演するとともに、パンフレット等により近年増加する外国人観客への対応も行う。
92	松竹株式会社	東京都	九月花形歌舞伎	令和元年9月2日～26日	京都府	舞台芸術	主催：松竹株式会社	歌舞伎は、常に日本の豊かな自然との関わりの中で物語を表現してきた。現在の歌舞伎公演においてもそのコンセプトは変わらず、日本人の生活に不可欠な季節感の中で人間がいかに生きているかを表現する演目を上演している。南座九月花形歌舞伎では、歌舞伎の代表作を優れた花形俳優で上演するとともに、パンフレット、イヤホンガイド等により近年増加する外国人観客への対応も行う。
93	松竹株式会社	東京都	秀山祭九月大歌舞伎	令和元年9月1日～25日	東京都	舞台芸術	主催：松竹株式会社	歌舞伎は、常に日本の豊かな自然との関わりの中で物語を表現してきた。現在の歌舞伎公演においてもそのコンセプトは変わらず、日本人の生活に不可欠な季節感の中で人間がいかに生きているかを表現する演目を上演している。秀山祭九月大歌舞伎では、そうした歌舞伎の代表作を優れた演者で上演するとともに、パンフレット・ポータル字幕端末や幕見席の販売等により近年増加する外国人観客への対応も行う。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
94	組踊上演300周年記念事業実行委員会	沖縄県	組踊上演300周年記念展覧会 「THE KUMIODORI 300～組踊の歴史と拡がり～」	沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）： 令和元年7月11日～8月25日 首里城公園：令和元年7月5日～11月14日	沖縄県	美術・文化財	主催：一般財団法人沖縄美ら島財団、組踊上演300周年記念事業実行委員会 共催：日本放送協会沖縄放送局 後援：株式会社琉球新報社、株式会社沖縄タイムス社、琉球放送株式会社、伝統組踊保存会、沖縄県書作家協会 木筆會	組踊初演から300年。形として残ることのない文化財を、先人達はいかにして守り、継承してきたのか。ユネスコ世界無形文化遺産である「組踊」の世界を歴代冊封使にまつわる関連資料をはじめ、往時の琉球関係文化財の展示を通して、組踊の歴史を紹介する。さらに、組踊の発展に多大な影響を与えた近現代の名優と謳われる演者たちや、今なお沖縄各地の村踊りで演じられる組踊の魅力に迫る。
95	組踊上演300周年記念事業実行委員会	沖縄県	組踊上演300周年記念 展示 「朝薫踊り、順則詩うー琉球王国時代の偉人ー」	令和元年8月6日～12月1日 第1期：令和元年8月6日～11月4日 ※陽明文庫の資料を展示するのは第1期のみ 第2期：令和元年11月6日（仮）～12月1日 ※開幕については調整中	沖縄県	美術・文化財	主催：沖縄県立博物館・美術館、組踊上演300周年記念事業実行委員会 特別協力：公益財団法人 陽明文庫	北から南まで約3,000キロにわたる日本は、温帯や亜熱帯の地域を持ち多様な生態系を持つ。それらの地勢は植物や動物の多様性を生み出し、沖縄県は140年前まで琉球王国であった。中国や日本、東南アジアとの交流によって発達してきた文化の中でも、日本の歌舞伎等の影響を受けて生み出されてきた「組踊」は、今年で初上演から300周年を迎える。その創作者である玉城朝薫を中心に琉球王国時代の偉人を紹介する特別展示を行い、組踊のさらなる発展に寄与することを目的とする。
96	組踊上演300周年記念事業実行委員会	沖縄県	組踊上演300周年記念 首里城公演・式典（仮称）	令和元年11月2日、3日	沖縄県	舞台芸術	共催：沖縄県（予定）	1719年、冊封使を歓待する「重陽の宴」において初めて上演された組踊。その時上演されたと記録に残る「二童敵討」、「執心鐘入」の2つの演目等を、当時の様式を復元的に再現した舞台において上演することで、組踊の発祥とこれまでの継承を国内外に発信し、これからの組踊のさらなる発展に寄与する。
97	組踊上演300周年記念事業実行委員会	沖縄県	組踊上演300周年記念 県内巡回公演（仮称）	令和元年8月18日、9月14日、12月1日	沖縄県	舞台芸術	共催：宮古島市、名護市、石垣市（予定）	組踊公演が行われることが少ない本島北部、宮古、八重山において組踊公演を行い、県民へ沖縄の風土から生まれた独自の芸術である組踊に関する普及啓発を図り、組踊のさらなる発展に寄与することを目的とする。
98	富山県	富山県	第2回大伴家持文学賞贈呈事業 第2回高志の国詩歌賞贈呈事業	令和元年7月～令和2月7月	富山県	生活文化・文芸・音楽	その他 後援：外務省（大伴家持文学賞）	景観や風土の美しさに感銘を受け、数々の秀歌を生んだ大伴家持の生誕1300年を記念して、富山県では2017年に、世界のすぐれた詩人の業績を顕彰する「大伴家持文学賞」及び富山ゆかりの詩歌を対象とした「高志の国詩歌賞」を中西進館長の発案で創設し、隔年で開催。もって人々の心豊かな人生の創造に寄与することを目的とする。また、日本人が育んできた文化に対する姿勢を国内外に発信し、同時に国内外の者がそれらを学ぶ機運とするもの。
99	京都祇園祭実行委員会	京都府	特別展京都祇園祭	令和2年3月24日～5月17日	京都府	美術・文化財	主催：京都府、京都文化博物館、公益財団法人祇園祭山鉾連合会、京都新聞、朝日放送テレビ、日本経済新聞社 共催：京都市 後援：（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都（予定）	四季に恵まれた日本では、春、夏、秋、冬という季節の移り変わりに添うように豊穡、感謝、疫病退散、禊などを目的とした祭りが行われている。本展では、疫病退散祈願を発端とする京都の夏を彩る祇園祭を取り上げ、人と人との関わりが希薄になったといわれる都市において、祭りを行う人々を強く結びつけてきただけでなく、祭りを鑑賞する人との結びつきをも新たに生み出していく大きな役割を果たしてきたことを歴史資料や山鉾の素晴らしい懸装品を通して紹介していく。
100	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	青森県	秋季企画展「山のいとなみ」	令和元年10月5日～11月24日	青森県	美術・文化財	主催：八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 協力：資料借用先の各機関 その他 後援：地元マスコミ各社	縄文文化は、日本列島の豊かな森林資源を活かした木の文化だった。本展では、斧等の伐採道具をはじめ、木材加工のための道具、漆のための用具などの資料から、縄文から現代まで続く人と森との関わりを考える。
101	東京国立博物館	東京都	御即位記念特別展「正倉院の世界 －皇室がまもり伝えた美－」	令和元年10月14日～11月24日	東京都	美術・文化財	主催：東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション 後援：岩谷産業、大和ハウス工業、凸版印刷、丸一銅管	天皇陛下の御即位を記念し、正倉院宝物を中心とした飛鳥・奈良時代の国際色豊かな造形文化に焦点を当てた特別展を開催する。本展は、正倉院宝物と法隆寺献納宝物という日本を代表する文化財が一堂に会する稀有な機会であり、令和元年の本年にこそふさわしい、日本文化を世界に発信する展覧会である。皇室が守り伝えたかけがえのない日本の美、今後も受け継がれゆく悠久の美を広く来館者にご覧頂く。
102	長野県立歴史館	長野県	長野県立歴史館開館25周年記念特別企画 「土偶」展	令和元年10月26日～11月10日、11月23日～令和2年2月2日	長野県	美術・文化財	主催：長野県立歴史館 協賛：千曲市	縄文時代、人びとは各地の多様で厳しい自然環境の中、技術力と信仰力によって対応してきた。特に信仰に関わる造形物である土偶は、至高の芸術作品といえる域にまで達した。今回の企画展では、前半の「国宝土偶」で、国宝5箇を一堂に会し、それぞれの地の自然を生かした生活の中で育った芸術性と祈りの世界を堪能いただきます。後半の「中部高地の土偶」では、長野・山梨両県の土偶を展示。
103	北アルプス国際芸術祭実行委員会	長野県	北アルプス国際芸術祭2020	令和2年5月31日～7月19日	長野県	美術・文化財	主催：北アルプス国際芸術祭実行委員会 協賛：サントリーホールディングス株式会社、マルコム株式会社、トヨタUグループ 等	土地固有の生活文化を表現する「食」と、地域の魅力を再発見する「アート」の力によって、長野県大町市に内在するさまざまな価値を掘り起こし、北アルプス山麓の豊かな自然環境や風土、歴史・文化などの地域資源を効果的に世界に発信することで、地域に活力を呼び起こすとともに市民の郷土への愛着心の向上を図ることを目指す事業。
104	奈良国立博物館	奈良県	特別陳列「重要文化財 法隆寺金堂 壁画写真ガラス原板－文化財写真の軌跡－」	令和元年12月7日～令和2年1月13日	奈良県	美術・文化財	主催：奈良国立博物館、法隆寺、便利堂、朝日新聞社 協力：東京大学史料編纂所、仏教美術協会 学術協力：国立情報学研究所高野研究室 後援：文化庁（予定）	写真により記録に残すことは、経年や修理などによる変化を免れない文化財にとって重要な課題であり、また、写真はいまでは常識となっている文化財という概念を社会に定着させる契機にもなった。昭和24年の火災により、法隆寺の東アジア仏教美術の至宝である金堂壁画12面は惜しくも損傷を免れませんでした。このときの写真ガラス原板は往時のかがやきを伝える唯一の存在として貴重である。この展覧会を通して、壁画の比類無き価値と魅力とともに、文化財保存の意義を広く伝える。
105	国立劇場	東京都	邦楽公演 「文楽素浄瑠璃の会」	令和元年10月19日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	上演する演目のうち、『双蝶々曲輪日記』は中秋の名月が重要なコンセプトとなり、物語が展開される。『曲輪文章』は日本の最も重要な歳時記である正月を控えた廓の風景が描かれる。『ひらかな盛衰記』は日本に強く根付いた「小夜の中山」伝説を背景に、奇跡が起きる物語が綴られる。以上の演目を通して、日本の四季や生活の中で巻き起こる、人々の情愛の折り重なった美しさを余すところなく伝える。
106	国立劇場	東京都	歌舞伎公演 「通し狂言 天竺徳兵衛韓噺」	令和元年10月2日～26日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	蝦蟇の妖術を駆使して天下を狙う主人公・天竺徳兵衛の活躍が、大道具のスペクタクルや水中の早替りなど奇想天外な趣向と演出で描かれる。数々の名優が動めてきた徳兵衛に、次代の座頭役者・中村芝翫を迎え、芸の継承を図る。また、英語版のホームページによって外国人の誘客を図るとともに、パンフレットや音声ガイドで英語表示を行うことでその来場に対応する。
107	五大陸着物コレクション実行委員会	東京都	五大陸着物コレクション	令和元年9月～令和2年12月頃	東京都	美術・文化財	主催：五大陸着物コレクション実行委員会 共催：（一社）イマジンワンワールド 特別協力：駐日各国大使館	2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、日本が誇る伝統衣装である着物の美しさと700年を超える歴史を持つ能狂言の魅力をも日本国内外へ向けに発信する。海外へ向けた発信力の強化と着物や能狂言へのイメージ向上や認知度向上の波及効果を狙い、特に各国大使館から大使及び大使夫人等をお招きして、各国をイメージした着物を着用していただいた上で観世能楽堂の能舞台を体験していただく。2020年7月までに100カ国の参加を予定している。
108	山種美術館	東京都	東山魁夷の青・奥田元宋の赤 一色で読み解く日本画ー	令和元年11月2日～12月22日	東京都	美術・文化財	主催：山種美術館、日本経済新聞社、S M B C日興証券	近代・現代の日本画から、色が印象的な使われ方をした作品を通じて、画家と色の密接な関わりをひもとく展覧会を開催する。これは、日本人が、自然や人々・生活など多様な題材に関し、様々な色の持つ可能性を追求しながらバリエーション豊かな絵画を生み出してきた歴史を俯瞰するものであり、日本を代表する日本画家の作品約50点の展示を通じて「日本の美」を国内外に発信し、そして次世代に伝えるものである。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
109	京都清宗根付館	京都府	京都清宗根付館 根付展	令和元年7月1日～令和2年6月30日	京都府	美術・文化財	主催：京都清宗根付館	根付は、提げ物の留め具として考案され、江戸中期から後期にかけて精緻な彫刻を施し、装飾品の一部として爛熟を迎えたものであり、日本人の美意識を反映するものとして、海外の博物館でも極めて高い評価を得ている。京都市に現存する唯一の武家屋敷を活用して「京都清宗根付館」として、往時の雰囲気の中で、江戸時代の古典根付から現代根付まで約400点の常設展示とともに、毎月テーマを設定して開催する企画展を通じて「日本の美」を国内外に発信し、そして次世代に伝えるものである。
110	奈良国立博物館	奈良県	特別陳列「お水取り」	令和2年2月4日～3月22日	奈良県	美術・文化財	主催：奈良国立博物館、東大寺、仏教美術協会	古来、日本人は山に神性を見出し、山に寺社を建立した。東大寺二月堂もこうした山岳信仰を背景に設けられた堂宇であり、日本人と自然との関わりを考える上で重要な信仰の場である。この二月堂を会場とした法会、お水取り（修二会）は、観音に懺悔を行う法会であり、752年の創始以来、今日まで一年たりとも欠けることなく続いてきた。法会の中で、二月堂のふもとの湧水を仏に供える儀式は重要な意味を持ち、法会の通称ともなっている。こうした点からも、本行事は自然と神仏とのつながりを感じさせる伝統行事であり、その歴史と伝統を本事業で広く紹介する。
111	国立劇場	東京都	国立劇場9月声明公演 「黄檗宗大本山 萬福寺の梵唄」	令和元年9月7日	東京都	舞台芸術	主催：独立行政法人日本芸術文化振興会	仏教行事で唱えられる声の表現であり、日本の伝統的な声楽である「声明」は、日本人の価値観を今に伝える貴重な文化といえる。本公演では、300年以上にわたり京都・宇治の地域に根差しつつも、日本に伝わる声明の中でも高い独自性を持つ萬福寺の声明を特集する。なお、外国人の鑑賞者も舞台を楽しめるよう、ホームページにおける英語での情報発信や公演当日の英語パンフレット配布など対応の充実を図る。
112	文化庁	東京都	ここから4 ー障害・表現・共生を考える5日間	令和元年12月4日～8日	東京都	共生社会・多文化共生	主催：文化庁 共催：国立新美術館	本展は、2016年度の「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」時に開催した「ここから」展を契機とする、共生社会や文化の多様性について考えるための展覧会であり、今回で4回目を迎えます。障害のある人の作品だけでなく、様々な美術作品が共存する空間を通じて、表現が持つ「根源的なよこごび」を感じ、併せて、来場者がより良い環境で作品を鑑賞できるような展示の配慮やサポート体制の整備、日本語と英語によるキャプションや解説などを通じて、あらゆる人に対して美術館がひらかれた場所となることを目指します。
113	株式会社ヌマザワ	山形県	やさしさ、人、…心	平成31年4月1日～令和2年3月31日	山形県	美術・文化財	主催：株式会社ヌマザワ	エヴァモア美術館には、常設展として日本画の原画(198cm×740cm他)を展示。また、企画展では、大きな窓から見える四季折々の庭園との一体感で、日本の美を体感できる。また、東日本大震災の次の2012年より、毎年、震災孤児支援コンサートを開催し、入場料と支援金の全額を宮城県NPO法人JETOみやぎに寄付。新庄市の祭り、文化の魅力を伝えるDVDの制作も行ない、常時上映している。
114	未来観光戦略会議	富山県	北陸三都(富山・高岡・金沢)美術館サミット in 高岡 フォーラム「令和時代のミュージアム像・サミット」	令和元年9月22日	富山県	美術・文化財	主催：北陸三都(富山・高岡・金沢)ミュージアムサミット実行委員会 後援：富山県、高岡市他	北陸が持つ資源や遺産と言った地域の宝をはじめ、多彩な芸術文化の啓蒙発展策を探り、特に、従来の視点を変え、取り上げ方を工夫することで、まちづくり、文化観光、文化産業化などに波及・進化していく。ミュージアムが全国はもとより、世界へ具体的効果のある発信をするにはどうすればいいか、一緒に考える事が本サミットの目的である。
115	株式会社三越伊勢丹 三越日本橋本店 MD統括部 美術営業部	東京都	一日本画・洋画ー巨匠展2020 (仮称)	令和2年5月20日～25日 (予定)	東京都	美術・文化財	主催：株式会社三越伊勢丹 日本橋三越本店	ー日本画・洋画ー巨匠展2020とは、かつて横山大観や藤田嗣治といった日本の美術史を彩った数々の巨匠が生前展覧会を開催した歴史ある三越の美術画廊を舞台に、美を追求してやまない日本画家8名・洋画家8名の現代巨匠作家16名による展覧会。独自の自然観や歴史観等に根差した作品展示を通じて、明治以降、独自の発展を遂げてきた2つのジャンルが相互に共鳴し合うことで「新たな日本の美」を創造し、国内外へ向けて発信していく企画。
116	岐阜県教育文化財団	岐阜県	tomoni ハートアトラライブ	令和元年9月23日	岐阜県	共生社会・多文化共生	主催：(公財)岐阜県教育文化財団 共催：岐阜県	岐阜県民の文化・芸術、そして障がい者と若者の文化を発信することを目的に開館した「ぎふ清流文化プラザ」4周年記念事業として開催する。また「いろいろなみんなの展覧会 たわわに、実る。」(10/24~10/27)の舞台芸術関連企画として開催する。演劇や音楽、ダンス等の公演機会を創出し、障がい者が取り組む文化芸術への関心を高め、その発展を図る。
117	岐阜県教育文化財団	静岡県	いろいろなみんなの展覧会 たわわに、実る。	令和元年10月24日～27日	静岡県	共生社会・多文化共生	主催：岐阜県・(公財)岐阜県教育文化財団	10月に開催される「全国障害者・文化祭にいがた大会」とも連携し、岐阜県内外の作品を紹介する展覧会を中心に、緑豊かな庭園での野外イベントや座談会など、アートにまつわる総合芸術祭を開催する。本展覧会を通して、幅広い人々に対して、障がい者の可能性及び共生社会の素晴らしさを体感していただく機会を提供するもの。
118	下鴨神社 糺の森の光の祭 Art by teamLab 実行委員会	大阪府	下鴨神社 糺の森の光の祭 Art by teamLab-TOKIO インカラミ	令和元年8月17日～9月2日	京都府	美術・文化財	特別協力：下鴨神社(賀茂御祖神社) 後援：京都府、京都市、京都市教育委員会 協賛：TOKIO インカラミ	本展は、チームラボが取り組んでいる「Digitized Nature」(自然が自然のままアートになる)をコンセプトにした事業の一つで、今年で3回目の実施。下鴨神社の参道や楼門内に設置されたオブジェは、自由に触れることができ、触れることで、色が変わったり、音が鳴ったり、周辺の木々の光の色が変化したりと、インタラクティブな変化を実現する。また、今年は規模を拡大し糺の森の中にある泉川周辺に幅200メートルに及ぶスクリーンを設置し、歩き続ける多様な肖像群を映し出す作品を展示する。世界遺産の糺の森と下鴨神社が、人々の存在によって永遠に変化し続ける光のアート空間に変わる。
119	千人鼓の会	東京都	こころの架け橋～鼓の輪 人の和～	令和元年10月14日 令和2年1月3日、3月25日	奈良県、岡山県、福島県	生活文化・文芸・音楽	主催：千人鼓の会 協力：春日大社 共催：桜友会、いわき鼓愛好会	文化的価値の高い春日大社、岡山後楽園、また被災地復興の観点においてはいわき市で、様々な年齢層の人たちと、日本文化である鼓で、「三番叟」などを演奏。「三番叟」は、天下泰平を祈る曲であり、演奏者同士もさることながら、観客とも、この曲を共有する。
120	松竹株式会社	東京都	芸術祭十月大歌舞伎	令和元年10月2日(水)～26日(土)	東京都	舞台芸術	主催：松竹株式会社	十月大歌舞伎は、昼の部にて『お祭り佐七』ほか、夜の部にて通し狂言『三人吉三』ほかを上演する。いずれも、季節感を背景にしてストーリーが進行し、自然の中での人間の営みを表現する演目である。夜の部は、芸術祭に参加する。芸術祭十月大歌舞伎では、そうした歌舞伎の代表作を優れた演者で上演するとともに、ポータル字幕端末や幕見席の販売等により近年増加する外国人観客への対応も行う。
121	国立科学博物館	茨城県	「きのご展」 ー地下にもぐったふしぎなきのこたちー	令和元年9月21日～29日	茨城県	食文化・自然	主催：国立科学博物館筑波実験植物園 協力：日本地下生菌研究会	日本は世界的に見てもきのこの多様性が高い場所だと考えられるが、トリュフのような地下に子実体を作るきのこ類もたくさん存在することは、一般にはほとんど知られていない。日本で発見された様々なトリュフ類(地下生菌とも呼ばれる)の分類、進化、生態を日本地下生菌研究会の協力で紹介する。また、日本列島の多様なきのこは、日本の食文化の発展にも深く関わっている。地域ごとに異なるきのこの好み、諸外国では好まれないが日本で人気のきのこ、カビを使った日本食品、など、食ときのこ・カビについても紹介する。
122	浅野鍛冶屋	岐阜県	Make your own Japanese knife with a Certified Swordsmith!	令和元年8月～令和2年7月	岐阜県	美術・文化財	主催：浅野鍛冶屋	日本刀の鍛冶技術は現存世界最古であり最高峰の技術と言われ、起源は神話の時代に遡ります。刀は砂鉄から造られた玉鋼を用い、松炭(木)・火・土・水・風全ての自然界のエネルギーを用いて形作られ、その手法は変えることなく刀鍛冶が古来から現代まで繋げてきた。この鍛造ナイフ作り体験は一人でも多くの人にこの技術に触れてもらい、後世に伝えていくために行っている。刀匠自らが英語を用いてレクチャーを行う体験は他にはなく、世界的な鍛冶ブームが起きている今、世界中のお客様が会話を楽しみながら特別な時間を過ごす。
123	加賀温泉郷協議会	石川県	加賀四湯博2019	令和元年6月1日～令和2年3月31日	石川県	生活文化・文芸・音楽	主催：加賀温泉郷協議会	加賀の四温泉(山中、山代、片山津、あわづ)が一体となって情報発信、那谷寺、大王寺(粟津温泉)、愛染寺(片山津温泉)、薬王院温泉寺(山代温泉)、医王寺(山中温泉)におけるツアーなどのイベントを実施し、温泉地の活性化と賑わい創出を通じて、加賀地域への誘客を図る。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
124	奈良文化財研究所	奈良県	奈良文化財研究所 第11回東京講演会 「奈良の都、平城宮の謎を探る」	令和元年10月5日	東京都	美術・文化財	主催：奈良文化財研究所 後援：文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、橿原市教育委員会、明日香村教育委員会、朝日新聞社（予定）	60年に及ぶ平城宮跡の発掘調査と文献研究の最新の成果に基づき、日本古代律令国家の政治の中心として重要な役割を果たした平城宮の謎に迫る講演会を東京に於いて実施する。奈良文化財研究所の展示公開事業の一環として、より多くの方々にご聴講いただくために、春秋に奈良で開催している講演会とは別に、東京で開催してきた公開講演会の第11回にあたるものである。
125	徳島県立阿南光高等学校・あこうバンブーミクス	徳島県	阿波竹紙を世界に広めようプロジェクト（仮称）	令和元年12月5日～7日	徳島県、ハワイ	生活文化・文芸・音楽	主催：徳島県立阿南光高等学校 協力：NPO法人竹林再生会議（竹文化協会会員）	徳島県は平成2年までの20年間、タケノコ出荷量が全国1位であり、その半数を出荷していた阿南市では自然と住民が密接につながりを持ちタケノコ産業が地域の暮らしを支えていた。本校では地域のNPO法人と連携し、かつての美しく整備されていた里山を取り戻し、タケノコだけに頼らない新たな竹産業を地域に興すための活動を行っている。本事業は、自然本来の竹の素材を活かした竹紙のしおり・はがきを高校生主体で製作し、徳島県内において配布・販売し、ハワイでは配布、また、はがきを使った体験ワークショップを行うことによって、阿南竹紙を世界に広める取り組みである。
126	岐阜県教育文化財団	岐阜県	第5回tomoniつながる和綿プロジェクト展～創り出そう、未来への実り～	令和元年11月17日～12月8日	岐阜県	共生社会・多文化共生	主催：（公財）岐阜県教育文化財団 共催：岐阜県	和綿の特性を活かし、障がい者を対象にしたプロダクト制作として、2020年パラリンピックで提案するプロダクトや、障がい者への聞き取りに基づくプロダクト制作等を、また、岐阜県伝統工芸とコラボする等、アート、デザインを付加した製品づくりを試み、2020年パラリンピックで提案するものづくりを“未来への実り”と題して目指す。☆tomoniつながる和綿プロジェクトでは、日本の風土と日本人の肌に馴染む「和綿」を育て、糸、布にしていく過程の中で、アート、デザイン、ビジネス、福祉、農業の分野をつなぎ、新たな出会いと仕事が生まれる場づくりを目指す。
127	奈良文化財研究所	奈良県	平城宮跡資料館 令和元年度 秋期特別展 「地下の正倉院展 - 年号と木簡 -」	令和元年10月12日～11月24日	奈良県	美術・文化財	主催：奈良文化財研究所 後援：文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、平城宮跡管理センター、平城京再生プロジェクト、読売新聞社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、株式会社南都銀行、木簡学会	奈良文化財研究所では「日本人と自然」の下、育まれた文化財を通して日本の歴史を紹介する。本年は5月1日に新天皇陛下がご即位され、新しい元号「令和」が施行された。典拠が漢籍ではなく、『万葉集』であったことも特筆すべき点である。年号が記された木簡を通じて、奈良時代の年号に親しんでいただき、年号を書き記した当時の人々に思いをめぐらせていただければ幸いである。
128	国立大学法人東京芸術大学	東京都	円山応挙から近代京都画壇へ	令和元年8月3日～9月29日	東京都	美術・文化財	主催：東京芸術大学、朝日新聞社	本展は、応挙、呉春から近代へいたる系譜を追うことで、明治維新以降京都市画壇の主流派となった円山・四条派の全貌に迫るとともに、日本美術史の中で重要な位置を占める京都画壇の様相の一端を明らかにするものである。円山応挙「松に孔雀図」など重要文化財の襖絵群の立体的展示を含め、約120件の作品を展示する。
129	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会	石川県	兼六園周辺文化の森 外国人向け文化体験・魅力探訪ツアー	令和元年10月2日～31日	石川県	生活文化・文芸・音楽	主催：兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会	ラグビーW杯（2019年）や東京2020を控え、今後、更に外国人観光客の増加が見込まれることから、外国人を対象として、伝統文化・伝統工芸・歴史を扱う各文化施設等を観光ガイドなどの通訳解説付きで巡るツアーのほか、外国人のニーズが高い文化体験イベントを実施し、本県が誇る質の高い文化を発信する。また、民間の通訳ガイドを育成するため、外国人向けの観光ガイドを対象に各施設の学芸員が展示等の魅力をレクチャーする。
130	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会	石川県	秋のミュージアムウィーク	令和元年10月20日～11月4日	石川県	生活文化・文芸・音楽	主催：兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会 後援：石川県観光連盟	石川県は、加賀藩前田家の文化奨励策により発展した工芸、能、茶道、文学などの多彩な文化が、今もなお連続と受け継がれている。また、兼六園周辺は、歴史博物館や四高記念文化交流館（ともに国指定重要文化財）、美術館、能楽堂、しいのき迎賓館など文化施設が徒歩圏内で集積する全国有数の地であり、この立地条件を活かし、四季折々に文化イベントを集中的に実施する。
131	芸妓の技能向上実行委員会	石川県	金沢芸妓の舞	令和元年10月7日～令和2年3月26日	石川県	舞台芸術	主催：芸妓の技能向上実行委員会 後援：石川県観光連盟、北国新聞社	金沢の茶屋街の歴史は古く、文政3（1820）年に加賀藩の許可を得て、正式に茶屋街の町割りながされたと言われ、藩政期から金沢の三茶屋街で受け継がれてきた茶屋文化は、本県の魅力・財産・個性となっている。金沢芸妓による、この質の高い伝統芸能に、県民や観光客が気軽に触れる機会の充実を図るとともに、芸の披露の場を創出することにより、金沢芸妓の技能の向上と継承を図る。
132	島根県立石見美術館	島根県	ファッション イン ジャパン 1945-2020 流行と社会	令和2年9月19日～11月23日	島根県	デザイン・ファッション	主催：島根県立石見美術館、国立新美術館、読売新聞 協力：TSUTAYA(交渉中)、INFAS(交渉中)、文化学園大学 ファッション・リソースセンター、渋谷ファッション&アートカレッジ、『ソトコト』（交渉中）	本展覧会は、主として第二次世界大戦後から現在にいたる日本のファッションの軌跡を、衣服やアイデアを創造するデザイナー（発信者）サイド、衣服を着用し時代のムーブメントを作っていく受容者サイド、そして両者をつなぐメディア、それぞれの軸から概観し、社会的背景もふくめて考察する、初めての企画となる。島根県立石見美術館では、展覧会開催に併せ、伝統的な自然素材を用いたファッションショーの開催をはじめ、「地方」と「ファッション」をつなげる独自の関連プログラムを実施し、地域の文化資源の再評価とその新たな活用の可能性を、広く世界に向けて提示する。
133	ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会	京都府	京都アートラウンジ	令和元年9月8日	京都府	美術・文化財	主催：京都府 協力：京都商工会議所、京都西南ロータリークラブ	「日本の美」を創造する次世代の新進アーティスト達とその活動を支える新しい支援者をつくり拡げる交流の場として京都で開催。アーティストそのものの魅力を作品プレゼンテーションや講演会を通じて伝え、参加者間で意見を交わしながら交流を図り、次世代のアーティストの活動を多様な人々の交流を通じて展開できるプラットフォームを形成し、作家と鑑賞者、支援者、美術委関係者等様々な立場の人々がともに次世代の文化創造を図る環境づくりを目指す。
134	秋田市立千秋美術館	秋田県	岡田謙三展	令和元年11月22日～令和2年1月13日	秋田県	美術・文化財	主催：秋田市立千秋美術館	岡田謙三（1902-82）は、1950年代よりアメリカで抽象画家として活躍した。渡米前は、甘美な女性像や都会的な風景画などで人気を博したが、新天地アメリカでは、自ら「幽玄主義（ユーゲニズム）」と名付けた、日本の伝統的な美意識や色彩感覚、自然感に基づいた静謐で叙情的な独自の絵画表現で国際的にも高く評価された。本展では、岡田謙三の画業をたどりながら、親交のあった藤田嗣治の作品や関連資料を交え、その芸術の魅力を紹介する。
135	奈良国立博物館	奈良県	特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」	令和元年12月7日～令和2年1月13日	奈良県	美術・文化財	主催：奈良国立博物館、春日大社、仏教美術協会	神道は山や木、岩などに神の存在を見出した日本人の宗教観が根底にある。とりわけ春日大社は御蓋山への信仰を基盤とし、自然崇拜を色濃く伝える古社である。この展覧会は平安時代より一年も欠けることなく続く若宮おん祭に関する展覧会。日本の数ある神祭の中でもっとも長い歴史を有するおん祭を通して、自然崇拜と日本人の接点を明らかにする。
136	東京都美術館	東京都	ポストン美術館展 芸術×力	令和2年4月16日～7月5日	東京都	美術・文化財	主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、ポストン美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社 協力：日本航空、日本通運 企画協力：NTVヨーロッパ 協賛：大日本印刷	古今東西の権力者たちは、その力を示し維持するために芸術の力を使ってきた。威厳に満ちた肖像画は権力を強め、美しい工芸品は彼らの宮廷を彩っていた。日本の場合その豪華絢爛な美術工芸品のモチーフは多くが花鳥画など自然を装飾化した隠喩的なものであり、権力者の姿を直接描くことが多かった西洋の美術と対照を見せています。本展はポストン美術館所蔵品から約60点を選び、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、そして日本の名品を通して力と共にあった芸術表現の歴史を振り返る。日本人のみならず訪日外国人にも分かりやすいコンセプトで、日本美術の美しさと社会的背景を知っていただけるオリンピックイヤーに相応しい展覧会。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
137	墨田区文化振興財団	東京都	[北斎没後170年記念] 茂木本家美術館の北斎名品展	令和元年9月10日～11月4日	東京都	美術・文化財	主催：墨田区・すみだ北斎美術館 協力：茂木本家美術館	北斎が描いた数々の作品は、その多くが日本の自然を題材とし、その中の日本人の感覚、生活、風俗を捉えている。そしてこれらの作品は、世界中の人々にその斬新なデザイン構図等で驚愕を与え、また影響を与えてきた。これらの作品を所蔵する当美術館ではこれまで多くの北斎作品を展示し、来館者に占める外国人人数も相当数にのぼる。本事業では当館所蔵作品ではなく茂木本家美術館所蔵作品を展覧、「日本人と自然」を新鮮に来館者に感じ取っていただくことができる事業となっている。
138	岐阜県教育文化財団	岐阜県	音楽座ぎふプレゼンツ 第4回 清流ふれ愛コンサート	令和元年12月1日	岐阜県	共生社会・多文化共生	主催：(公財)岐阜県教育文化財団 NPO法人音楽座ぎふ 協力：富士通株式会社	障がいのある方が中心となって活動している文化芸術団体のコンサートで、第4回目の今回は、ろう者の感性・創造性を信じ、ろう者による舞台活動を行っている劇団による演劇、全盲のピアニストによる演奏などを開催。観覧者へは、手話、要約筆記、聴覚障がい者・ろう者向けシステムを同時に行い、性別・国籍問わず、様々な障がいのある方と健常者が同じ音楽を楽しめるコンサートとする。
139	日本酒造組合中央会	東京都	本格焼酎&泡盛を広めるプロジェクト	令和元年10月18日・19日、令和2年3月10日～13日	東京都、千葉県	食文化・自然	①本格焼酎・泡盛フェスタ2019 in 六本木 主催：日本酒造組合中央会 ②FOODEX JAPAN/国際食品・飲料展 主催：日本酒造組合中央会、一般社団法人日本能率協会、一般社団法人日本旅館協会、一般社団法人国際観光日本レストラン協会、公益社団法人国際観光施設協会	近年和食が文化遺産になり、それに伴い本格焼酎・泡盛の文化的意義、歴史的意味にも注目が集まり始めている。國酒である本格焼酎・泡盛は日本の自然環境に結びついた地域性の高いものを原料とし、また日本の伝統技術である麴菌を使う日本独自の文化である。また日本の食文化に大きく結びついている。このような本格焼酎・泡盛を集め、一般消費者や訪日外国人に本格焼酎・泡盛の伝統的な技術や文化的情報を発信し、正しい情報知識の普及と需要振興を図る。
140	株式会社ネイキッド	東京都	世界遺産登録25周年記念 FLOWERS BY NAKED 2019 -京都・二条城-	令和元年10月26日～12月8日	京都府	メディア芸術	主催：京都市・FLOWERS BY NAKED 2019制作委員会(讀賣テレビ放送株式会社・株式会社ネイキッド) 特別協力：華道家元池坊	二条城の通常の開城時間後、夜の時間を利用した有料イベントを実施。二条城全域をエリアとし、重要文化財の唐門でのプロジェクションマッピングや、特別名勝二の丸庭園のライトアップ、通常非公開の台所を使った空間演出など、二条城の歴史的な建築物や空間を使い、デジタルを掛け合わせた新たな表現で演出。また、イベントコンセプトである「花」にちなんで華道家元池坊さんとコラボレーションした大型作品も展示。
141	わよう書道会	東京都	和様の書展 / クセ字コンテスト(仮) 同時開催	令和2年1月17日～19日	東京都	生活文化・文芸・音楽	主催：わよう書道会	明治時代、近代化による活版印刷の普及で、日本の公式書体は、和様一唐様「楷書」となり、「日本人が日本語を書く」という自然な姿の「和様」が衰退し、外国語の漢文&筆記体の書道が定着します。近年、スマホの普及等で、楷書の用途はデジタル化されたことで外国文化の楷書に縛られない、日本本来の「和様」での表現可能な環境になりました。本事業では、日本式の手書きスタイル「和様」を、毛筆「和様の書展」、ペン字「クセ字コンテスト」を通じて、多様性ある日本語の筆記文化を作ります。
142	松竹株式会社	東京都	スーパー歌舞伎II 新版オグリ	令和2年3月4日～26日	京都府	舞台芸術	主催：松竹株式会社	『スーパー歌舞伎II 新版オグリ』は、梅原猛が中世に流行した説教節の「小栗判官」から構想を得、現代の感覚で甦らせ壮大なスペクタクルのもとに描いた『スーパー歌舞伎 オグリ』の脚本演出を一新し上演する。季節感を背景にしてストーリーが進行し、自然の中での人間の営みを表現する演目である。新版として現代に甦る『オグリ』が歌舞伎のレガシーとして未来に受け継がれることとなる。
143	松竹株式会社	東京都	十一月顔見世大歌舞伎	令和元年11月1日～25日	東京都	舞台芸術	主催：松竹株式会社	十一月顔見世大歌舞伎は、昼の部にて『髪結新三』ほか、夜の部にて『菊畑』『連獅子』ほかを上演する。いずれも、季節感を背景にしてストーリーが進行し、自然の中での人間の営みを表現する演目である。
144	金沢市	石川県	湯涌江戸村の文化財を活かした歴史体感プログラム事業	令和元年11月頃	石川県	生活文化・文芸・音楽	協力：金沢市文化振興財団、金沢市芸術創造財団	金沢市には、南東の山里地区に江戸時代の加賀藩を中心とした民家をひろく集め、移築して展示公開している湯涌江戸村がある。市では、湯涌江戸村エリアの観光ルートとして、下記に掲げる文化財を周遊するコースを推奨しているところである。湯涌江戸村に所在する、国指定重要文化財の「旧松下家」の魅力を高めるため付加価値を創出する取組を通じ、来年度以降は重要有形民俗文化財「旧園田家」における紙すき体験を拡充し、外国人観光客等を始めとする誘客を進めるとともに、経済の好循環による経済活動を行う。
145	十日町市	新潟県	芸術を生み出す縄文文化体感プログラム	2020年6月1日～	新潟県	美術・文化財	主催：十日町市	新・十日町市博物館が開館する2020年6月にあわせ、日本の美意識と感性の原点である縄文文化を最も特徴づける「火焔型土器」の出土地において、縄文時代の食を現代風にアレンジして提供する縄文レストランを開設する。また、新博物館の観覧および遺跡広場で提供する数種の体験を通じ、日本人の自然に寄り添って生活することへの美意識を育んだ縄文文化をトータルに体感できるツアー・プログラム。
146	姫路市	兵庫県	姫路城を活かした歴史体感プログラム事業		兵庫県	美術・文化財	主催：姫路市	姫路市では、姫路城の保存継承に努めるとともに、姫路城を中心とした都市型観光の推進と滞在型観光へのシフトを目指し取組を進めており、文化財の特別公開などを通じた誘客を進める。姫路城にて当時の歴史を体感するプログラムを開発し実施する。
147	旧軍港市日本遺産活用推進協議会	東京都	日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財を活かした歴史体感プログラム事業	2019年11月頃	京都府	美術・文化財	主催：舞鶴市	明治期に、海軍の本拠地である鎮守府が置かれ、日本の近代化とともに歩んできた4市共通のストーリーが日本遺産に認定されている。 日本遺産の構成文化財である「舞鶴赤れんがパーク」を中心に、当時の海軍レシピによる料理体験や料理本の復刻版の作成・展示を通じて、海軍の艦上食で取り入れた海軍食（西洋料理）の文化に触れていただく。また、海軍制服を着用しての記念撮影、「ラッパ君が代」の体験を通じて、日本人のみならず外国人観光客にも日本の近代化の歴史に触れて、理解を深めていただく。
148	Living History in 京都・二条城協議会	京都府	Living History in 京都・二条城 ～生きた歴史体感プログラム～	西暦2019年12月頃	京都府	美術・文化財	主催：Living History in 京都・二条城協議会	二条城は、徳川家康による築城以来、3代将軍・家光による後水尾天皇の寛永行幸、15代将軍・慶喜による大政奉還の表明、離宮としての大正天皇御即位の饗宴と、わが国における歴史の転換の舞台となっている。本事業を通じて、往時の様子を生きた歴史として、日本人のみならず、国外からの来城者にも体感していただくことで、二条城はもとより、わが国の歴史・文化に対する正しい理解促進に寄与することを目的に事業を実施する。
149	石川県	石川県	「文化立県」いしかわの文化資源活用推進プログラム事業		石川県	美術・文化財	主催：石川県	石川県には、世界的に有名な特別名勝「兼六園」をはじめ、史跡「金沢城跡」など貴重な文化財が集積し、加えて、加賀藩前田家の文化奨励策により発展した工芸や能楽などの「加賀百万石の武家文化」は、今も受け継がれ本県の特徴となっている。 来年の国立工芸館の移転と合わせ、周辺の兼六園、金沢城など本県が誇る文化財を一体的に活かし、当時の芸能や工芸品を文献等に基づき再現し、「加賀百万石の武家文化」の体験機会を提供する。さらに、能登地域に数多く残る、昔ながらの建物や街並み、祭礼・伝統行事など有形・無形の文化財を活かし、当時の衣食を再現し、往時の姿での体験機会を提供する。
150	加賀市	石川県	加賀市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業	2020年1～3月(予定)	石川県	美術・文化財	主催：加賀市	加賀市北前船の里資料館(旧酒谷長兵衛家住宅 市指定有形文化財)が所有する「酒谷家文書」に基づいた北前船主のハレの日の行事を体感するプログラムで、北前船主が航海に向かう際の出行行事を復元した体験を実施する予定。本プログラムと同時開催として資料館にて関係する資料や、当時における冬期の生活様式を再現した展示を行う。体験内容としては、出行日の恒例行事である神社参拝を行い、当日の献立を再現して当資料館が所蔵する酒谷家が当時使用していた膳・椀等の食器類を使用し提供する。

番号	組織・団体名	都道府県	プロジェクト名	開催期間	開催地	分野	他機関主催/共催等	事業概要
151	矢巾町	岩手県	矢巾町の文化財を活かした歴史体感プログラム事業	西暦2020年3月頃	岩手県	美術・文化財	主催：矢巾町教育委員会 協力：矢巾町観光協会 矢巾町民劇場矢巾町食生活改善推進員協議会	矢巾町には、西暦812年頃に征夷將軍文室綿麻呂によって築かれた律令国家最後の城柵「徳丹城跡」があり、政庁内では、役人と蝦夷（俘囚）との融和的な朝貢の儀式が行われていたと考えられることから再現や体験等を行い、当時徳丹城で行われていた事を知る機会とし、徳丹城の魅力に触れ、歴史に興味を持っていただく。
152	和歌山市歴史体感プログラム活用推進協議会	和歌山県	和歌山市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業	2019年3月頃～	和歌山県	美術・文化財	主催：和歌山市歴史体感プログラム活用推進協議会	和歌山城を舞台として、紀州徳川家関係の歴史資料をもとに、大名行列や城で働いた人々の様子を再現し、和歌山城を訪れる人々に生きた歴史の体感を提供する。
153	明日香村	奈良県	明日香村の文化財を活かした歴史体感プログラム	2020年3月頃	奈良県	美術・文化財	主催：明日香村	明日香村には、多種多様な国指定史跡が集中して存在する。国特別史跡石舞台古墳も含めた明日香村の文化財は、当地の景観や風土を自然とともに形成し、「日本人の心のふるさと」とも呼ばれる独特な雰囲気を出し、日本人の心象風景にその美しさをとどめる。こういった文化財と自然とが織り成す景観・風土が残る当村において、文化財を活用した体験プログラムを実施することにより、その美しさの根源に気づき、重要度を再認識する機会を創出する。
154	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会	福井県	一乗谷朝倉氏遺跡 戦国体感プログラム事業	西暦2020年3月頃	福井県	美術・文化財	主催：一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会	雪国福井一乗谷朝倉氏遺跡では、発掘調査により、囲炉裏、火鉢など暖をとるための施設や道具、パンバ（雪かき道具）、雪下駄などが出土している。また、夜の明かりとして灯明皿（主にエゴマ油を入れ、芯に火を入れるもの）が大量に出土し、それを乗せる灯明台も出土している。これら実用品の使用を観光客等が体験することによって、当時の一乗谷での戦国時代の暮らしを体感する。